

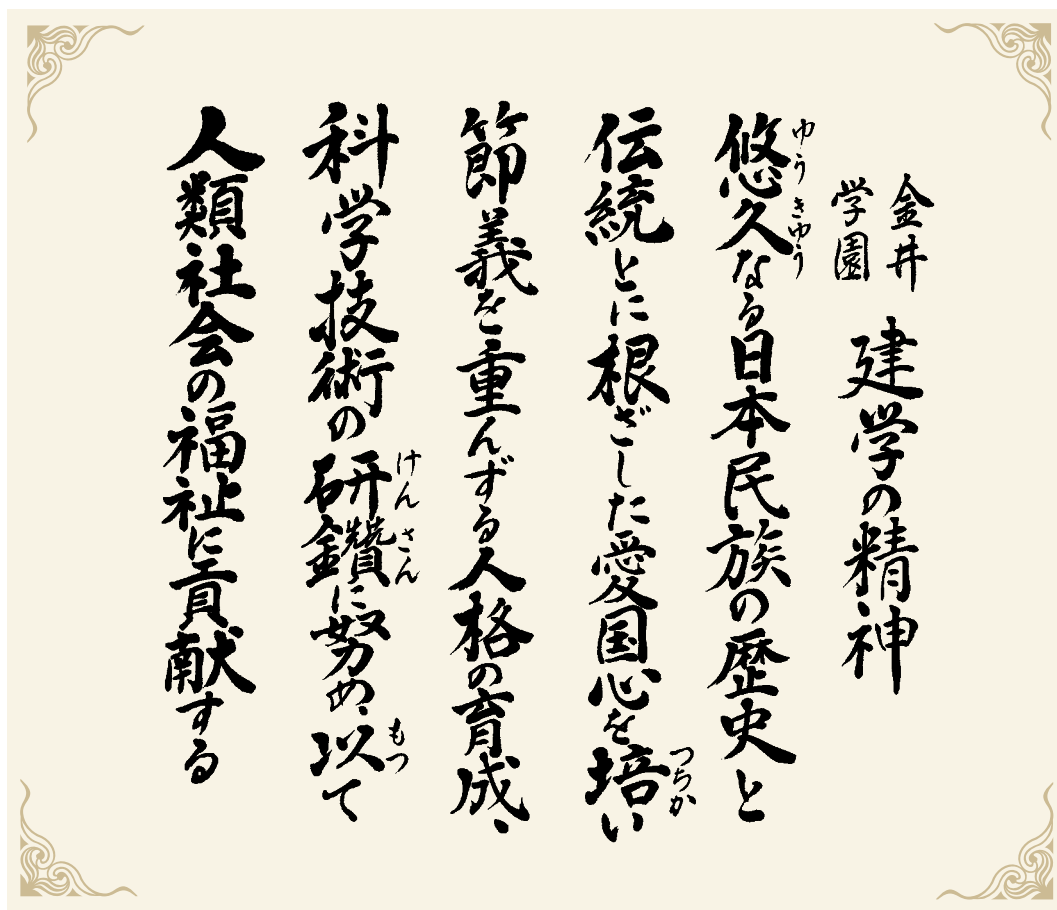
**FUT** DATABASE  
大学要覧 2025



「知」をつなぐ。  
「未来」を創る。



**福井工業大学**  
Fukui University of Technology



本学の建学の精神に謳われている人格の育成は教職員が強く意識すべき  
 本学の教育の根幹をなす理念であり、科学技術の研鑽は教職員学生共々  
 自らを研鑽し、質の高い工学教育を授受することを意味している。  
 建学の精神の要約である本学の基本理念は、次のとおりである。

## 基本理念

健全な人格を身に付けた実践的な技術者を育成し  
 社会に送り出すことを通して社会の発展と繁栄に寄与する

### 学校法人金井学園のブランドステートメント

#### ブランドメッセージ



「知」をつなぐ。  
 「未来」を創る。

#### 金井学園ブランドプロミス

私たちは、急激な技術革新が進む社会において、新しい価値を創造し、豊かな未来を実現する人材を育成します。地域に愛され、地域に必要とされとともに、地域を世界とつなぐ「知」の拠点としての「総合学園」をめざします。

#### 福井工業大学ブランドプロミス

- ◎超スマート社会の到来と人生100年時代の中で、たくましく生き抜く自律した実践的な人材を育成します。
- ◎グローバル化の進展や社会状況の変化による多様化する社会に対応し、地域の持続的な発展に貢献できる研究を推進します。
- ◎大学が持つ様々な「知」と「技」を地域に還元し、夢と可能性の拡大に貢献します。

# INDEX

## 建学の精神／基本理念

### 沿革／名誉総長／歴代学長 ..... 2

### 基本組織／主要役職 ..... 3

### データで見る福井工業大学 ..... 4

### 主要な取組成果(2024～2025) ..... 5

## 01 使命・目的／

### 人材の養成及び教育研究上の目的 ... 14

01-1 使命・目的

01-2 人材の養成及び教育研究上の目的

01-3 3つのポリシー

## 02 学修の成果・卒業認定 ..... 26

02-1 評価方法

02-2 卒業・修了に必要な単位数・取得可能な学位

## 03 教職員情報 ..... 28

03-1 教員数

03-2 職員数

## 04 入学者・在学者・卒業者の状況 ..... 30

04-1 入学者

04-2 収容定員・在学者数・除退者数

04-3 卒業

04-4 進学及び就職

## 05 研究 ..... 34

05-1 外部資金・受託研究費

05-2 知的財産

05-3 地域連携研究推進センター(研究部門)

05-4 AI&IoTセンター

05-5 まちづくりデザインセンター

05-6 ウェルネス&スポーツサイエンスセンター

05-7 未来ロボティクスセンター

05-8 あわら宇宙センター

05-9 FUT福井城郭研究所

05-10 福井工業大学アイトーブ研究所

## 06 社会貢献 ..... 38

06-1 福井工業大学未来塾

06-2 学科主催講座、大学連携センター(Fスクエア)開講科目

06-3 FUT科学実験キャラバン、出前講義・出前実験 等

06-4 ロボット事業

06-5 自治体との連携

06-6 他機関との連携協定

## 07 国際交流 ..... 41

## 08 入学金・授業料・その他費用 ..... 43

08-1 入学金・授業料・その他費用

08-2 主な奨学金制度

08-3 学生保険

08-4 寮・下宿

## 09 学生支援・施設紹介 ..... 46

09-1 図書館

09-2 情報メディアセンター

09-3 クラブ活動支援センター

09-4 キャリアセンター

09-5 インターナショナルセンター

09-6 テクニカルサポートセンター

09-7 学習支援室

09-8 教職支援室

09-9 SPEC

09-10 学生生活支援室

## 10 決算の概要 ..... 52

## 11 教育研究環境 ..... 53

11-1 キャンパス・学内施設

11-2 所在地及び土地・建物面積

11-3 耐震化率

### ロゴマークについて



学校法人金井学園は、創立60周年を機に学園をはじめ福井工業大学、福井工業大学附属福井高等学校、福井工業大学附属福井中学校の「絆」を大切に、一体感ある統一マークを作成しました。

本学園は、地元福井から日本へ、そして世界への貢献を使命とし教育理念に掲げていることから、新ロゴマークは、福井(FUKUI)のFをモチーフに、また生徒や学生の成長と未来への発展を願いデザインしました。

シンプルでも明るい印象のロゴマークのデザインは、福井工業大学デザイン学科の近藤晶講師(当時)によるものです。



### SDGsにつながる取組み

本学では、これまで行ってきた教育・研究・社会貢献活動の中でSDGsにつながる取組みを洗い出し、より発展させた活動を目指します。さらに、地域の様々な団体の皆様や行政と連携し、持続可能な地域社会づくりを進めます。

# 沿革

|                 |                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和24(1949)年 4 月 | 夜間の北陸電気学校を創設                                                                                                                                                                                     |
| 昭和40(1965)年 4 月 | 福井工業大学開学（電気工学科、機械工学科）                                                                                                                                                                            |
| 昭和41(1966)年 4 月 | 建設工学科設置                                                                                                                                                                                          |
| 昭和42(1967)年 4 月 | 建設工学科専攻分け（建築・土木専攻）                                                                                                                                                                               |
| 昭和47(1972)年 4 月 | 電気工学科専攻分け（電気・電子専攻）                                                                                                                                                                               |
| 昭和48(1973)年 3 月 | 電子計算機室開設                                                                                                                                                                                         |
| 4 月             | 応用物理学科設置（環境安全・原子力専攻）                                                                                                                                                                             |
| 昭和50(1975)年10月  | カナイ産業工学研究所創設                                                                                                                                                                                     |
| 昭和53(1978)年 4 月 | カナイ産業工学研究所を福井工業大学産業工学研究所に改称                                                                                                                                                                      |
| 昭和54(1979)年 4 月 | 応用物理学科を環境安全工学科に改称                                                                                                                                                                                |
| 昭和57(1982)年 4 月 | 電気工学科専攻名変更（電気工学・電子工学専攻）<br>建設工学科専攻名変更（建築学・土木工学専攻）                                                                                                                                                |
| 昭和58(1983)年 4 月 | 機械工学科専攻分け（機械工学・電子機械専攻）                                                                                                                                                                           |
| 昭和60(1985)年 4 月 | 大学院工学研究科修士課程開設（機械工学・建設工学・環境安全工学専攻）<br>環境安全工学科専攻変更（環境工学・安全工学専攻）                                                                                                                                   |
| 昭和61(1986)年 4 月 | 大学院工学研究科修士課程に電気工学専攻設置                                                                                                                                                                            |
| 昭和62(1987)年 4 月 | 経営工学科設置                                                                                                                                                                                          |
| 昭和63(1988)年 4 月 | 環境安全工学科を応用理化学科に改称、同時に専攻廃止                                                                                                                                                                        |
| 5 月             | 金井学園電子計算機センター開設                                                                                                                                                                                  |
| 平成 元(1989)年 4 月 | 大学院工学研究科の環境安全工学専攻を応用理化学専攻に改称                                                                                                                                                                     |
| 平成 2（1990）年 4 月 | 大学院工学研究科博士課程開設（電気工学・応用理化学専攻）                                                                                                                                                                     |
| 平成 9（1997）年 4 月 | 福井工業大学技術システム研究館開設                                                                                                                                                                                |
| 平成10(1998)年 4 月 | 応用理化学科専攻分け（応用科学・介護福祉工学専攻）                                                                                                                                                                        |
| 平成11(1999)年 4 月 | 経営工学科専攻分け（マルチメディア工学・経営デザイン工学専攻）                                                                                                                                                                  |
| 平成12(2000)年 4 月 | 機械工学科専攻廃止                                                                                                                                                                                        |
| 平成13(2001)年 4 月 | 宇宙通信工学科設置<br>電気工学科を電気電子工学科に改称し、専攻を廃止<br>建設工学科土木工学専攻を地球環境工学専攻に改称                                                                                                                                  |
| 平成14(2002)年 4 月 | 応用理化学科応用科学専攻を環境・生命未来工学専攻に改称<br>福井工業大学産業工学研究所を産学共同研究センターに改組                                                                                                                                       |
| 平成15(2003)年 4 月 | 応用理化学科を環境・生命未来工学科に改称し、専攻を廃止<br>SSL(Student Space Laboratory) 開設                                                                                                                                  |
| 平成16(2004)年 4 月 | 経営工学科を経営情報学科に改称し、経営デザイン工学専攻を経営情報システム工学専攻に改称                                                                                                                                                      |
| 10月             | 学生生活センター開設                                                                                                                                                                                       |
| 平成17(2005)年 4 月 | 原子力技術応用工学科設置                                                                                                                                                                                     |
| 平成18(2006)年 4 月 | 地球環境工学専攻を土木環境工学専攻に改称<br>学習支援センター開設                                                                                                                                                               |
| 平成20(2008)年 4 月 | 経営情報学科専攻廃止                                                                                                                                                                                       |
| 平成21(2009)年 4 月 | デザイン学科設置<br>建築学専攻を建築学科に改組<br>土木環境工学専攻を土木環境工学科に改組<br>電気電子工学科を電気電子情報工学科に改称<br>環境・生命未来工学科を環境生命化学科に改称<br>宇宙通信工学科を宇宙情報科学科に改称                                                                          |
| 平成22(2010)年 4 月 | 宇宙情報科学科学生募集停止                                                                                                                                                                                    |
| 9 月             | 福井工業大学カールマイヤーグラウンド落成                                                                                                                                                                             |
| 平成23(2011)年 4 月 | 産業ビジネス学科設置<br>キャリアセンター開設                                                                                                                                                                         |
| 5 月             | 図書館付属ラーニングcommons開設                                                                                                                                                                              |
| 平成24(2012)年 4 月 | 建築生活環境学科設置、建築学科、土木環境工学科学生募集停止<br>大学院工学研究科応用理工学専攻（博士前期課程、博士後期課程）、社会システム学専攻（博士前期課程、博士後期課程）設置<br>大学院工学研究科電気工学専攻（修士課程、博士後期課程）、応用理化学専攻（修士課程、博士後期課程）<br>機械工学専攻（修士課程）、建設工学専攻（修士課程）<br>情報学専攻（修士課程）学生募集停止 |
| 10月             | インターナショナルセンター開設                                                                                                                                                                                  |
| 平成25(2013)年 5 月 | FUT福井城郭研究所開設                                                                                                                                                                                     |
| 平成26(2014)年 4 月 | クラブ活動支援センター開設<br>電子計算機センターを情報システムセンターに改称                                                                                                                                                         |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成27(2015)年 4 月 | 福井工業大学開学50周年<br>学部学科再編（3学部8学科）<br>環境情報学部設置<br>環境情報学部 環境・食品科学科設置<br>環境情報学部 経営情報学科設置<br>環境情報学部 デザイン学科設置<br>スポーツ健康科学部設置<br>スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科設置<br>工学部 電気電子情報工学科を電気電子工学科に改称<br>工学部 建築生活環境学科を建築土木工学科に改称<br>工学部 デザイン学科、経営情報学科、産業ビジネス学科、環境生命化学科学生募集停止<br>産学共同研究センターを地域連携研究推進センターに改称 |
| 7 月             | あわらキャンパス体育館竣工                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 平成29(2017)年 4 月 | 入学センター開設                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 9 月             | 学園体育館竣工                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 平成30(2018)年 4 月 | 情報システムセンターを情報メディアセンターに改称                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 9 月             | 武徳殿（武道館）竣工                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 平成31(2019)年 4 月 | AI & IoTセンター開設                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 令和 2（2020）年 4 月 | 環境情報学部 環境・食品科学科を環境食品応用化学科に改称                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 令和 4（2022）年 4 月 | まちづくりデザインセンター開設<br>ウェルネス&スポーツサイエンスセンター開設                                                                                                                                                                                                                                       |
| 令和 5（2023）年 4 月 | 学部学科再編（4学部8学科）<br>経営情報学部設置<br>経営情報学部 経営情報学科設置<br>環境情報学部を環境学部 to 改称<br>工学部 電気電子工学科を電気電子情報工学科に改称<br>環境情報学部 経営情報学科学生募集停止<br>未来ロボティクスセンター開設                                                                                                                                        |
| 令和 6（2024）年 7 月 | あわら宇宙センター開設                                                                                                                                                                                                                                                                    |

## 名誉総長

| 氏 名 |          |
|-----|----------|
| 初代  | 熊谷 太 三 郎 |
| 2代  | 山 崎 正 昭  |

## 歴代学長

| 氏 名 / 期 間 |                                 | 備 考            |
|-----------|---------------------------------|----------------|
| 初代        | 熊谷 太 三 郎 昭和40年4月1日～昭和45年10月9日   |                |
| 2代        | 松 村 龍 雄 昭和45年10月10日～昭和45年12月22日 |                |
|           | 熊谷 太 三 郎 昭和45年12月23日～昭和46年1月18日 | 学長代行<br>(名誉総長) |
| 3代        | 高 敏 郎 昭和46年1月19日～昭和51年3月31日     |                |
| 4代        | 疋 田 強 昭和51年4月2日～昭和62年3月31日      |                |
| 5代        | 増 田 閃 一 昭和62年4月1日～平成5年3月31日     |                |
| 6代        | 山 本 勇 麓 平成5年4月1日～平成8年3月31日      |                |
| 7代        | 北 條 卓 平成8年4月1日～平成11年3月31日       |                |
| 8代        | 三 宅 正 宣 平成11年4月1日～平成19年3月31日    |                |
| 9代        | 城 野 政 弘 平成19年4月1日～平成25年3月31日    |                |
| 10代       | 森島洋太郎 平成25年4月1日～平成30年3月31日      |                |
| 11代       | 掛 下 知 行 平成30年4月1日～              |                |

# 基本組織

福井工業大学



※令和7(2025)年7月1日現在

## 主要役職

|        |                       |       |                |       |           |                |       |
|--------|-----------------------|-------|----------------|-------|-----------|----------------|-------|
| 福井工業大学 | 学 長                   | 掛下 知行 | 未来ロボティクスセンター長  | 岩野 優樹 | 福井工業大学大学院 | 工学研究科委員会委員長    | 掛下 知行 |
|        | 副学長                   | 池田 岳史 | 未来ロボティクス副センター長 | 土屋 高志 |           | “ 副委員長         | 池田 岳史 |
|        | 学長補佐                  | 三寺 潤  | あわら宇宙センター長     | 馬場口 登 |           | 応用理工学専攻主任      | 西沢 博志 |
|        | 学長補佐                  | 辻本 典央 | あわら宇宙副センター長    | 村田 泰宏 |           | 電気電子情報工学コース主任  | 西田 好宏 |
|        | 学務部長                  | 蔵田 浩之 | アイソトープ研究所長     | 掛下 知行 |           | 宇宙情報科学コース主任    | 西田 好宏 |
|        | 図書館長                  | 松浦 敬三 | FUT福井城郭研究所長    | 多米 淑人 |           | 機械工学コース主任      | 西岡 岳  |
|        | 地域連携研究推進センター長         | 川島 洋一 | FUT福井城郭研究所顧問   | 吉田 純一 |           | 環境生命化学コース主任    | 小松 節子 |
|        | 地域連携研究推進副センター長        | 井藤 幹夫 | 工学部長           | 宮本 裕司 |           | 原子力技術応用工学コース主任 | 西沢 博志 |
|        | キャリアセンター長             | 五十嵐 啓 | 電気電子情報工学科主任    | 西田 好宏 |           | 社会システム学専攻主任    | 宮本 裕司 |
|        | 情報メディアセンター長           | 大下 福仁 | 機械工学科主任        | 西岡 岳  |           | 土木工学コース主任      | 谷脇 一弘 |
|        | 国際化推進センター長            |       | 建築土木工学科主任      | 宮本 裕司 |           | 建築学コース主任       | 仲地 唯治 |
|        | ブラッドフォードリー            |       | 原子力技術応用工学科主任   | 西沢 博志 |           | デザイン学コース主任     | 川島 洋一 |
|        | クラブ活動支援センター長          | 杉浦 宏季 | 環境学部長          | 川島 洋一 |           | 経営情報学コース主任     | 馬場口 登 |
|        | 入学センター長               | 池田 岳史 | 環境食品応用化学科主任    | 小松 節子 |           |                |       |
|        | AI&IoTセンター長           | 芥子 育雄 | デザイン学科主任       | 川島 洋一 |           |                |       |
|        | AI&IoT副センター長          | 阿部 修也 | 経営情報学部長        | 馬場口 登 |           |                |       |
|        | まちづくりデザインセンター長        | 三寺 潤  | 経営情報学科主任       | 馬場口 登 |           |                |       |
|        | まちづくりデザイン副センター長       | 吉村 朋矩 | スポーツ健康科学部長     | 野口 雄慶 |           |                |       |
|        | ウェルネス&スポーツサイエンスセンター長  | 坂崎 貴彦 | スポーツ健康科学科主任    | 野口 雄慶 |           |                |       |
|        | ウェルネス&スポーツサイエンス副センター長 |       | 基盤教育機構長        | 入学 直哉 |           |                |       |
|        |                       | 前川 剛輝 |                |       |           |                |       |

# データで見る福井工業大学

## 学部・研究科数

大学  
4学部 8学科  
大学院  
1研究科 2専攻

工科系総合大学として  
多様な学問領域を展開

## 開設年

1965年  
(昭和40年)

60年の歴史がある

## 卒業・修了生数

大学  
30,986名  
大学院  
博士前期課程 810名  
博士後期課程 65名  
(令和7年3月現在)

## 卒業生の地域分布 (地方同窓会数)

全国 12か所

北は北海道、南は沖縄まで  
卒業生が全国で活躍中

(令和7年7月現在)

## 学生数

大学  
1,926名  
大学院  
52名

(令和7年5月現在)

## 卒業生進路満足度

・満足している 53.5%  
・ほぼ満足している 40.2%  
・あまり満足していない 5.8%  
・満足していない 0.5%

(令和7年3月実施 卒業生アンケートから)

## 公開講座数

9ジャンル  
全45講座

(令和7年度開催予定講座数)

## 学内合同企業研究会 参加企業数

405社

(令和6年12月現在)

## 博士号取得の 専任教員

|               |               |
|---------------|---------------|
| 電気電気情報工学科…10名 | デザイン学科…6名     |
| 機械工学科…10名     | 経営情報学科…12名    |
| 建築土木工学科…10名   | スポーツ健康科学科…11名 |
| 原子力技術応用工学科…8名 | 基盤教育機構…5名     |
| 環境食品応用化学科…8名  |               |

合計 80名  
専任教員 98名

(令和7年5月現在)

## 韓国 明知大学校・漢陽大学校を訪問

令和6年7月18日(木)に金井理事長、金井経営企画部長、ブラッドフォード・リー インターナショナルセンター長が韓国 明知大学校、漢陽大学校を訪問しました。明知大学校は本学と学術交流に関する協定を結んでいる大学です。

明知大学校ではユビョンジン総長 他 5 名と、漢陽大学校ではキムジョンヤン理事長 他 2 名と意見交換を行いました。両大学とも暖かく迎えていただき、今後、大学間での共同研究やセミナー開催を含めた学術交流、学生間交流、教職員派遣および相互訪問による交流などを活発に行っていくことを確認しました。今後、両校との幅広い連携活動を進めてまいります。



## 韓国 明知大学校での文化交流プログラムに12名の学生が参加

上記の訪問がきっかけとなり、本学学生のグローバルな視野を広げる取り組みの一環として文化交流プログラムを企画し、12名の学生が参加しました(実施日 令和7年2月8日～15日)。

本学学生は韓国語レッスンをはじめ韓国の食文化や景福宮での韓服体験などを通じて様々な韓国文化に触れました。また、明知大学校の学生がバディ(サポート役)として同行したため、充実した文化交流を体験しました。

インターナショナルセンターでは引き続き、学生たちが異文化を理解し、国際的な視野を広げるための活動を積極的に進めてまいります。



## 福井工業大学が推進する宇宙研究に関する取り組み

### 福井工業大学あわらキャンパスで「あわら宇宙フェス」を開催しました！



講演 国立天文台首席教授 渡部潤一氏



バスボムでフィルムロケット発射！の様子

令和6年11月2日(土) 福井工業大学あわらキャンパスにて「あわら宇宙フェス」を開催し、延べ450名ほどの方にお越しいただき、講演や様々な体験イベントを開催しました。

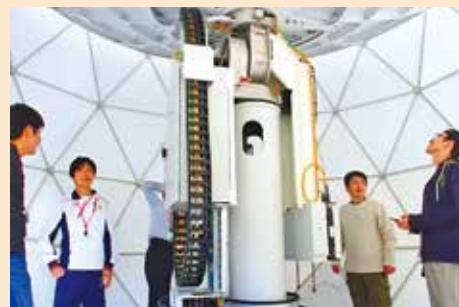
フェスの中では、例年本学で開催している各業界の著名人をお呼びして行う未来塾講演会として、国立天文台首席教授 渡部潤一氏をお招きし「見上げてみよう、今宵の星空」というテーマでご講演いただきました。

また、宇宙キャスターの榎本麗美氏とNHKアニメ宇宙なんちゃらこてつくんの主人公こてつくんによる「宇宙おねえさんとこてつくんの宇宙旅行」というテーマで公演を行っていただきました。

その他体験イベントとしては、事前予約制の体験から当日参加でも楽しめる体験まで様々なイベントを実施いたしました。

ご参加いただいた皆様お足元の悪い中お越しいただきましてありがとうございました！

### 【高校生向け】「宇宙がもっと近くなる！ 13.5mパラボラアンテナ見学・体験イベント」を開催しました！



高校生を対象とした宇宙イベント「宇宙がもっと近くなる！ 13.5mパラボラアンテナ見学・体験イベント」を2回実施しました。

イベントは、1泊2日で行われ、1日目はあわらキャンパスや本学あわら宇宙センターの紹介、電波天文学の解説、自作電波望遠鏡による天の川からの電波観測体験を実施しました。

2日目は、衛星リモートセンシングに関する説明、3.9mパラボラアンテナの見学会、13.5mパラボラアンテナのコントロール体験、AQUA衛星からの受信体験、受信データの画像処理体験を実施しました。

## 令和6年度 宇宙戦略基金事業に採択されました！



福井工業大学は、JAXA(宇宙航空研究開発機構)が公募を行った、「令和6年度 宇宙戦略基金事業 技術開発テーマ ～月-地球間通信システム開発・実証(FS)」に採択されました。

研究概要は以下の通りです。

- 研究代表者：村田泰宏(工学部 電気電子情報工学科 教授 / あわら宇宙センター 副センター長)
- 技術開発課題の名称：福井工業大学13.5m地上局を利用した月-地球間通信システム設計の提案
- 技術開発課題の概要：福井工業大学は月-深宇宙用のあわら13.5m地上局(FUT13.5m)を建設し2024年に完成した。この地上局を基に、実証・開発を進めることにより、本研究テーマにとって有益となる実証検討結果が得られることが期待される。FUT13.5mをベースとして新しい技術を取り入れ、より高性能な地上局を実現するための技術の検討を行い将来あるべき月-地球通信システムの地上局の基本設計およびそのための地上局ネットワークの案を提案する。

## FUSION projectによる「超小型人工衛星FUSION-1」の電波受信に成功！！

2022年10月から、県内における衛星運用体制の構築を目指す産官学の「ふくい衛星運用ネットワーク構築プロジェクト | FUSION project」(主要4団体(セーレン株式会社、福井テレビジョン放送株式会社、福井大学、福井工業大学))がスタートしておりましたが、2025年1月に「超小型人工衛星FUSION-1」の打ち上げに成功し、福井工業大学あわらキャンパス衛星地上局「SOWARA」にて、試験電波による通信が正常に機能していることを確認いたしました。

本プロジェクトに参画する電気電子情報工学科 中城智之教授からは「衛星打ち上げ後、通信による運用は衛星にとって唯一の命綱です。FUSION-1衛星の運用によって福井県に運用機能が加わることは福井県ひいては我が国の宇宙産業の発展にとって重要な展開であると考えます。また、福井県で運用ができることは人材育成の面でも非常に大きな効果が期待されます。本学あわら宇宙センターの衛星地上局が宇宙産業の発展、人材育成に貢献できることを大変うれしく感じております。」とのコメントがありました。



あわらキャンパス衛星地上局SOWARA  
「3.9mパラボラアンテナ」

# 主要な取組成果

## 理工系高等教育の活性化を目指し、「工大サミット」の取組みに積極的に参画しています

### 「第7回工大サミット」が実施されました

令和6年11月30日(土)、神奈川工科大学において、「第7回工大サミット」が開催されました。

第1部では、全国工業高等学校校長協会 理事長より「全国の工業高等学校の現状と課題」と題して、基調講演が行われました。

その後、「工業高校と工業大学の未来」をテーマとして、学長パネルディスカッションが行われました。

本学からは、掛下学長が「工業系高校と工業大学」と題して、「福井県及び周辺地域を取り巻く現状」「本学の学び・研究・支援体制」「教職課程・高大接続・高大連携」について説明しました。

第2部では、2つのテーマに分かれ、分科会が実施されました。

テーマAは、「工業教育の未来」と題して、各大学を代表する学生によるプレゼンテーションが行われ、本学からは、工学部 原子力技術応用工学科 4年 上田拓実さん(砂川研究室)が「大学での学びと将来について」と題して、「工業高校時代に学んだこと」「なぜ原子力技術応用工学科に進学したのか」「将来の目標」などについて発表し、意見交換が行われました。

テーマBは、「工業教育の質保証」と題して、神奈川工科大学、神奈川県工業高等学校長会、静岡県工業高等学校長会、東京都立工業高等学校長会、本学からプレゼンテーションが行われました。本学からは、辻本学長補佐が「工科系総合大学としての質保証」と題して、「習熟度に応じた教育・支援」「授業評価・卒業生満足度アンケートの実施と活用」「GPS-Academicの実施」など、本学の取り組み事例を交えて質保証について説明しました。

また、学生交流イベント(e-スポーツ)が実施され、本学からもイベントに学生が参加しました。イベントは初戦敗退となってしまいましたが、イベント終了後にも引き続き、学生間の交流が行われ、親睦を深めていました。今回の工大サミットを通し、他大学と交流を深めることができたのではないかと感じました。

閉会式では、次年度(第8回工大サミット)開催校である本学の紹介と、本学を代表して掛下学長が挨拶をされました。

そのほかサミットでは、文具女子博の表彰式や各大学の学長が意見交換し、工大サミットにおける「基本規程」が制定されるなど、盛況のうちに閉会しました。



学長パネルディスカッション



学生によるプレゼンテーション



e-スポーツ本学参加学生



本学の紹介をする掛下学長

## 工大サミット連携PBL

令和6年度全国工業系9大学による工大サミット連携PBLは、広島工業大学が主催し「宮島町家の保存と活用」をテーマに開催され、本学から3名の学生が広島県宮島地区でのフィールドワークを実施しました。宮島の厳島神社へ続く表参道通りと並行する町家通りには江戸期から昭和初期に建造された「宮島町家」が立ち並んでいます。空き家や空き地も点在しています。他大学の学生と協力しこのような現状と課題を調査し議論を重ね、広島工業大学にて自治体の担当者、地域の高校生や住民、関係者に提案を発表し意見交換を行いました。



フィールドワークの様子



宮島駅を背景に集合写真

## 1級建築施工管理技士・1級土木施工管理技士の1次試験に21名が合格

令和6年7月に建築土木工学科2～4年生の希望者が1次検定を受検し、1級建築施工管理技士に18名・1級土木施工管理技士に3名が合格しました。

令和5年度までは両試験の受検には大学卒業後3年以上の実務経験が必要でしたが、令和6年度より19歳以上であれば受検できるように緩和され、本学の希望者が受検した結果、下記のような結果となりました。全国平均の合格率に比べ本学の合格率はいずれも大きく上回りました。

**1級建築施工管理技士：**全国平均合格率36.2% 本学の合格率85.7%

**1級土木施工管理技士：**全国平均合格率44.4% 本学の合格率50.0%

1級建築施工管理技士1次検定に合格した4年生の平田愛奈さんは「今後は1級建築士の資格も取得し、大きなプロジェクトに携わりたい」、1級土木施工管理技士1次検定に合格した3年生の加屋善明さんは「過去問題を7年間分解いて自信がついた。将来はスーパーゼネコンに就職したい」と話し、お互いの合格を喜び合いました。



## 主要な取組成果

### 「フェイクメディアの拡散と生成を防ぐ先駆的研究」で 科学技術賞（研究部門）を受賞！



令和7年4月8日（火）に発表された「令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰」において「フェイクメディアの拡散と生成を防ぐ先駆的研究」として、経営情報学部長 馬場口登教授が、越前功氏（情報・システム研究機構情報社会関連研究系教授）、山岸順一氏（情報・システム研究機構国立情報学研究所（NII）コンテンツ科学研究系教授）とともに研究を行い、「科学技術賞（研究部門）」を受賞しました。

今回の研究は、生成AIによるフェイクメディア拡散の脅威を予見し、フェイクメディアの拡散と生成を防ぐ革新的な技術群を確立しました。また、フェイク顔映像をAIモデルにより検出する手法や、フェイク検出と改ざん領域推定を同時に行う手法などを提案し、Deepfake detectionと呼ばれる研究分野を創成しました。フェイクメディアの拡散と生成を防ぐ先駆的な学術成果のみならず、フェイク顔映像検出や音声プライバシー保護の産業応用といったイノベーションを創出し、社会課題の解決に貢献しています。



今回のこの成果は、生成AIの負の側面に適切に対処する基盤技術を提供することで、情報の信頼性を確保しながら、多様なコミュニケーションや意思決定を支援可能とし、人間中心の健全なサイバー社会の実現に寄与することが期待されています。

## 「FUKUI SDGs AWARDS 2024」最優秀賞を受賞！

「FUKUI SDGs AWARDS 2024」において、「UNSDGsを通じた人間力向上を目指した英語教育の展開 ― FUT Advanced Communication A の事例 ―」をテーマに基盤教育機構のリチャードカミンスキー講師、エドウィンハート助教、ウェインマルコム講師、建築土木工学科の吉村朋矩教授のチームがエントリーし、最優秀賞を受賞しました！

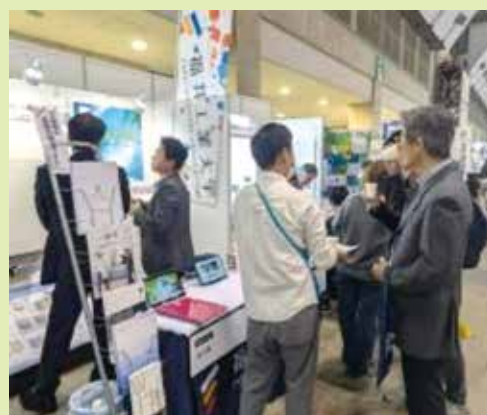
### 【受賞理由】

本学における英語教育の取り組みは、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という目標を体現している点で高く評価されました。さらに、「自分だけでなく、周りの人々も幸せになってこそ、本当の幸せにつながる」というSDGsの精神にも合致しており、英語を学ぶことを通じて、多様な人々が協力し合い、支え合う社会を築ききつかけになっていると受賞時の講評の際に述べられました。



## SDGs Week EXPO「エコプロ2024」に参加しました

令和6年12月4日（水）～6日（金）、東京ビッグサイトで「エコプロ2024」が開催されました。福井工業大学は、大学・教育機関コーナーで、まちづくりデザインセンターの委員である環境食品応用化学科の笠井研究室とデザイン学科の近藤研究室が「雨水タンク・RainHarvest」「壁掛け式雨水タンク・ピュアエデン」「雨水ソーダの商品展示・試飲」の研究取り組みを出展しました。



エコプロ2024は、消費者やサプライヤー、従業員とのエンゲージメントを構築し、地球環境問題をはじめ社会課題解決を促進するビジネスマッチングイベントで、今年度で26回目の開催となります。3日間の来場者数は63,303人、福井工業大学のブースにも、産学官・学生のみなさまがたくさん来場されました。

# 主要な取組成果

## 学生の輝かしい活動成果

### 硬式野球部

#### 全日本大学野球選手権大会にて4年ぶり2回目の準優勝！

令和7年6月9日(月)～15日(日)に「第74回全日本大学野球選手権大会」が東京都 明治神宮球場・東京ドームで開催されました。3大会連続46回目の出場となる本学硬式野球部は、初戦の近畿大学工学部(広島六大学野球連盟)を4-2、2回戦の大阪産業大学(阪神大学野球連盟)を3-0で下し、続く3回戦で中京大学(愛知大学野球連盟)との接戦を制し2-1で勝利。準決勝では東海大学(首都大学野球連盟)

に先制されるも逆転し、6-5で勝利し4年ぶりの決勝進出を果たしました。決勝では東北福祉大学(仙台六大学野球連盟)に一矢報いたものの1-8で敗れ、4年ぶり2回目の準優勝となりました。



### 女子硬式野球部

#### 全日本大学女子硬式野球選手権大会にて準優勝！

令和6年8月20日(火)～25日(日)に「第14回全日本大学女子硬式野球選手権大会」が和歌山県 上富田スポーツセンター・田辺スポーツパークで開催されました。予選リーグを1勝2分で勝ち進み、決勝トーナメントに進出。決勝戦では、惜しくもIPU環太平洋大学に0-5と惨敗したものの、創部初の準優勝を飾りました。



## 剣道部

### 全日本学生剣道オープン大会にて男子個人優勝！

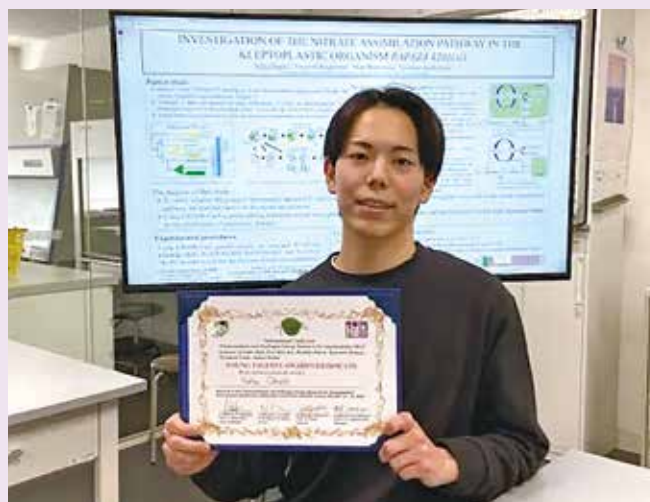
令和6年12月14日(土)・15日(日)に「第18回全日本学生剣道オープン大会」が宮城県仙台市で開催されました。男子個人で高多英章さん(建築土木工学科3年)が優勝、吉水太悠さん(建築土木工学科3年)が2位、大宮輝星さん(電気電子情報工学科1年)が5位の成果を収めました。同大会での男子個人戦優勝は初めての快挙となりました。



## 大学院生

### 国際学術学会で若手優秀賞を受賞

令和6年10月13日～19日にイスタンブールで開催された国際学術会議「持続可能性のための光合成と水素エネルギー研究2024 (Photosynthesis and Hydrogen Energy Research for Sustainability-2024)」において、大橋悠歩さん(大学院工学研究科(博士前期課程)応用理工学専攻環境生命化学コース2年・柏山研究室)が若手優秀賞を受賞しました。



# 01 使命・目的 / 人材の養成及び教育研究上の目的

## 01-1 使命・目的

### 学部

建学の精神に基づく使命・目的は福井工業大学学則第1条に規定されている。

学校法人金井学園が設置する福井工業大学は、本学園建学の精神に基づいて、質実剛健な気風と、愛国心の涵養に努め、人格円満にして徳性の高い社会人を育成するとともに、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い高い教養と工学に関する高度な専門知識・技術を身に付けた人材を育成することを使命とし、教育研究活動を通して地域社会の発展に寄与するとともに、広く人類社会の福祉に貢献することを目的とする。

それに沿って以下のような人材の育成を目指している。

1. 国家・社会の形成者にふさわしい人格と教養を身に付け、人類社会に貢献する高い志をもつ人材の育成
2. 日本の歴史・文化を正しく理解し、自国を愛する健全な精神を身に付けた真の国際人の育成
3. 質実剛健な気風を養い、人格円満にして高い徳性を身に付けた社会人の育成
4. 多様かつ急速な科学技術の変化にも柔軟に対応できるように十分な工学基礎知識と専門知識を身に付けた技術者の育成
5. 創造的に物事を考え、自主的に課題を解決する能力を身に付けた実践的な技術者の育成

### 大学院

大学院においても建学の精神に基づく使命・目的が定められ、福井工業大学大学院学則第1条に規定されている。

福井工業大学大学院は、建学の精神と本学の教育理念に基づき、各専攻の専門分野における学術の理論と、応用に関する教育と研究を行い、広い視野と高度の専門知識・技術及び研究能力を身に付け、人類社会の福祉に貢献するとともに、国際的に活躍できる高度技術者・研究者を育成する。

## 01-2 人材の養成及び教育研究上の目的

### 学部

各学部・学科の人材の養成及び教育研究上の目的は、次のとおりである。

| 学 部       |            | 人材の養成及び教育研究上の目的                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工 学 部     |            | 高い教養と工学に関する高度の専門知識・技術を身に付け、ものづくり産業の発展に貢献できる人材を養成する。                                                                                                                                                                                            |
| 環 境 学 部   |            | 現代社会のあらゆる場合において重要性が増している環境に関わる教育研究を基盤に、地域から世界まで様々なレベルの諸問題に取り組むことにより、持続可能な社会の実現に貢献し、幅広い分野で活躍できる創造性豊かな人材を養成する。                                                                                                                                   |
| 経営情報学部    |            | データサイエンス・AIおよびICTにもとづく経営・経済に関する知識と技術を習得し、高度情報社会の課題に対する適切な解決策の構想に貢献できる人材を養成する。                                                                                                                                                                  |
| スポーツ健康科学部 |            | スポーツ、健康に関する基礎知識・基礎理論への総合的・学術的な理解を持ち、科学的な視点からスポーツ・健康産業界や地域スポーツ指導の発展に貢献できる人材を養成する。                                                                                                                                                               |
| 学 科       |            | 人材の養成及び教育研究上の目的                                                                                                                                                                                                                                |
| 工 学 部     | 電気電子情報工学科  | 電気電子情報工学の分野において、電気・エネルギー・電子材料・コンピュータ・計測制御・宇宙通信などの専門教育の実践並びにこれらに関する先端技術の研究の推進を通して、電気・電子・通信・情報システム・宇宙にわたる高度な専門技術と幅広い教養を身に付け、世の中の変化に柔軟に対応し、グローバルに活躍できる電気電子情報工学分野の人材を養成する。                                                                         |
|           | 機械工学科      | ものづくりの基礎となる専門知識と技術の教育・研究、及び自動車の構造や整備に関する専門教育を行い、福祉・医療用機器やロボットを含む各種産業・運輸用機械・設備の設計や製造など、ものづくりに必要な幅広い知識と技術をもち、自ら進んで最先端の課題に取り組み、解決していける豊かな人間力を有し、国際社会や地域社会で活躍できる人材を養成する。                                                                           |
|           | 建築土木工学科    | 現代建築および伝統的木造建築に必要な建築技術・設計法、建築計画、構造、材料、環境設備などに関する教育・研究、および自然環境と共生し、人にやさしく自然災害に強い安全・安心で豊かな国土の創出および社会基盤の整備・維持管理に必要な専門的土木技術の教育・研究を行い、専門技術者として建設業界で活躍する人材を養成する。                                                                                     |
|           | 原子力技術応用工学科 | 原子炉、原子燃料サイクル、保全技術、放射線などについて、各人の個性、希望に合わせた特定分野の専門教育を行い、原子力技術・放射線技術を用いた安全で安心な社会を実現させるための研究を行う。また、福井県内外の研究機関や原子力技術での現場実習を豊富に取り入れるとともに、「専門職」として求められる放射線主任者、技術士補や非破壊検査技術者などの資格取得にも力を入れ、原子力・放射線分野に関する多くの知識を社会に伝えることの出来るコミュニケーション能力及び高い倫理観を持つ人材を養成する。 |

| 学 科       |           | 人材の養成及び教育研究上の目的                                                                                                                                                                                                         |
|-----------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境学部      | 環境食品応用化学科 | 化学・生物学の基礎から環境・食品の専門に至る体系化された教育とこれらに関する最先端研究を通して、氾濫する様々な情報に惑わされることなく、多角的な視点と深い洞察力で環境や食品に関連する重要課題の解決・改善に取り組むことができる幅広い科学技術の知識と応用力、豊かな創造性、揺るぎない倫理観を身に付けた人材を養成する。                                                            |
|           | デザイン学科    | 住宅及びインテリアのデザインを軸とした環境デザイン、工業製品のデザインを軸としたプロダクトデザイン、グラフィック・映像・CG・WEBなどを軸とした情報デザインに関する専門教育の実践、工学と芸術の融合を目指す作品の制作や研究活動、デザインの発想を活用した商品企画や社会貢献を通して、美しく快適で持続可能な生活環境の創造に携わるデザイナーやデザインに関わる人材を養成する。                                |
| 経営情報学部    | 経営情報学科    | 地域社会（現代社会・経営・経済）が抱える諸問題を解決・改善するために、データサイエンス・AIおよびICTを駆使して企業や地域社会の活力を向上させ、地方圏を発展させていく視点と能力とを備えるとともに、社会の一員として求められる倫理観と責任感、および高度情報社会のさらなる発展に寄与したいという意欲を持ち、学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、創造的かつ論理的な思考によって課題解決に取り組むことのできる人材を養成する。 |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科 | スポーツ、健康に関する基礎知識・基礎理論への総合的・学術的な理解を持ち、科学的な視点からスポーツ・健康産業界や地域スポーツ指導の発展に貢献できる人材を養成する。                                                                                                                                        |

## 大学院

各専攻の人材の養成及び教育研究上の目的は、次のとおりである。

| 専攻・課程    |           |        | 人材の養成及び教育研究上の目的                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------|-----------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大学院工学研究科 | 応用理工学専攻   | 博士前期課程 | 電気電子情報工学、宇宙情報科学、機械工学、環境生命化学、原子力技術応用工学の5コースを設置し、以下のような各コースの専門分野の教育並びに研究を行い、広い視野と高度な専門知識・技術、新しい問題提起とその解決能力を備えた創造性豊かな人材を養成する。各コースの専門分野は、以下の通りである。<br><br>（電気電子情報工学コース）： 電力工学、電子材料・デバイス工学、物性工学、制御工学、コンピュータ情報工学、人工知能<br>（宇宙情報科学コース）： 宇宙環境科学、地球環境計測工学、衛星通信工学、情報処理工学<br>（機械工学コース）： 材料工学、振動工学、流体工学、熱工学、機械システム工学<br>（環境生命化学コース）： 応用化学、環境科学、材料科学、応用生物学、生命科学、生体工学<br>（原子力技術応用工学コース）： 原子力工学、原子力発電工学、放射線応用工学 |
|          |           | 博士後期課程 | 電気電子情報工学、宇宙情報科学、機械工学、環境生命化学、原子力技術応用工学の5コースにおける専門分野の教育並びに研究を行い、基幹あるいは先端理工学分野における目覚ましい科学・技術の発展に対応できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材を養成する。                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|          | 社会システム学専攻 | 博士前期課程 | 土木工学、建築学、デザイン学、経営情報学の4コースを設置し、各コースの専門分野の教育並びに研究を行い、広い視野と高度な専門知識・技術、新しい問題提起とその解決能力を備えた創造性豊かな人材を養成する。各コースの専門分野は、以下の通りである。<br><br>（土木工学コース）： 土木計画学、水工学、環境工学、地盤工学、構造工学、防災工学<br>（建築学コース）： 建築論・計画・設計、伝統木造建築、建築構造工学、建築環境・設備<br>（デザイン学コース）： 生活創造科学、生産・環境デザイン学、情報・伝達デザイン学<br>（経営情報学コース）： 経営学、政策科学、情報科学、データサイエンス                                                                                          |
|          |           | 博士後期課程 | 土木工学、建築学、デザイン学、経営情報学の4コースにおける専門分野の教育並びに研究を行い、建築や社会基盤の計画・調査・設計・施工・維持管理、デザインによる生活文化や生産・環境・情報の価値創造、プロジェクトマネジメント及び望ましい情報社会の構築に貢献できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材を養成する。                                                                                                                                                                                                                                       |

## 01-3 3つのポリシー

## 学部

## ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）とは、本学で卒業を認定し、学士の学位を授与するに当って、卒業までに身に付けておくべき資質・能力等を示したものです。

## カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）とは、教育目標やディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために必要な教育課程の編成、授業科目の内容および教育方法について、基本的な考え方を示したものです。

## アドミッション・ポリシー

福井工業大学（以下、「本学」という。）は、学校法人金井学園（以下、「本学園」という。）の「建学の精神」に基づき、学部・学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定めた学修目標と人材育成を達成できる潜在的な能力を有した学生を求めて、以下の通り、学科毎にアドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）を定めています。

## 工学部

※本学の3つのポリシーは本学ホームページに掲載しております。本要覧掲載の3つのポリシーは一部抜粋したものです。

## 電気電子情報工学科

## ディプロマ・ポリシー

- (DP1) 電気・電子・情報に関する分野において必要と考えられる基本的な知識を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP2) 電気・電子・情報に関する分野において必要と考えられる専門的な知識・技術を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP3) 電気・電子・情報に関する分野の技術者あるいは社会人として国内外で活躍するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション力、および他者と連携・協働することのできるチームワーク力を身に付けている。〔汎用的技能〕
- (DP4) 社会人になるための心構え、および社会や人の役に立ちたいという意欲を持っている。〔態度・志向性〕
- (DP5) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、論理的かつ創造的な思考によって課題解決に取り組むことのできる基本的な能力を身に付けている。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

## カリキュラム・ポリシー

- (CP1) 電気電子情報工学を学修する上で必要となる基礎的・基本的な知識を、電気電子情報工学分野の実践的な知識・技術と関連付けて身に付ける。〔知識・理解〕
- (CP2) 電気エネルギー、電子デバイス、コンピュータ技術、情報通信技術など電気電子情報工学分野で求められる実践的な専門知識と技術を修得する。〔知識・理解〕
- (CP3) 電気電子情報工学分野の技術者として国内外で活躍するために必要なコミュニケーションスキルとプレゼンテーション力、および異文化理解のための国際感覚と英語力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP4) 電気電子情報工学分野の課題を自ら探求し、必要かつ適切な手法・手順で解決につなげる能力ならびにそれらの過程を他者にわかりやすく説明できる表現力を、課題解決型学習（PBL）等を通して修得する。〔汎用的技能〕
- (CP5) 他者と協調・協働して行動できる自己管理能力とチームワーク力、目的を効率よく達成するための実践力や指導力、および得られた結果を適切に発信できる能力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP6) 社会の一員としての技術者の意識と社会的責任感・倫理観、および社会に役立つ新しい製品や技術を主体的に創り出そうとする姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP7) アクティブ・ラーニング等を通して主体的に学び続ける姿勢と、学科での様々な学修を通して自律した技術者として社会生活を送ることができる態度を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP8) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、課題とその解決策を論理的かつ創造的に思考できる能力を修得する。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

## アドミッション・ポリシー

- (AP1) 本学科の学修に必要な基礎学力（特に数学、物理）と基本的な学習スキル（文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる）を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 電気や電子が関連して生じる現象や事象について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 電気・電子・情報・通信工学に関心があり、将来その分野の技術者として国内外で活躍し、社会に貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 電気・電子・情報分野に関連するプロジェクトなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

## 機械工学科

### ディプロマ・ポリシー

- (DP1) 機械工学に関する分野において必要と考えられる基本的な知識を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP2) 機械工学に関する分野において必要と考えられる専門的な知識・技術を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP3) 機械工学に関する分野の技術者あるいは社会人として国内外で活躍するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション力、および他者と連携・協働することのできるチームワーク力を身に付けている。〔汎用的技能〕
- (DP4) 社会人になるための心構え、および社会や人の役に立ちたいという意欲を持っている。〔態度・志向性〕
- (DP5) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、論理的かつ創造的な思考によって課題解決に取り組むことのできる基本的な能力を身に付けている。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

### カリキュラム・ポリシー

- (CP1) 機械工学を学修する上で必要となる基礎的・基本的な知識を、機械工学分野の実践的な知識・技術と関連付けて身に付ける。〔知識・理解〕
- (CP2) 「ものづくり」の根本を理解し、機械工学の知見・諸原理・技術など「ものづくり」に求められる実践的な専門知識と技術を修得する。〔知識・理解〕
- (CP3) 機械技術者として国内外で活躍するために必要なコミュニケーションスキルとプレゼンテーション力、および異文化理解のための国際感覚と英語力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP4) 機械工学分野の課題を自ら探求し、必要かつ適切な手法・手順で解決につなげる能力ならびにそれらの過程を他者にわかりやすく説明できる表現力を、課題解決型学習(PBL)等を通して修得する。〔汎用的技能〕
- (CP5) 他者と協調・協働して行動できる自己管理能力とチームワーク力、目的を効率よく達成するための実践力や指導力、および得られた結果を適切に発信できる能力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP6) 社会の一員としての技術者の意識と社会的責任感・倫理観、および社会に役立つ新しい製品や技術を主体的に創り出そうとする姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP7) アクティブ・ラーニング等を通して主体的に学び続ける姿勢と、学科での様々な学修を通して自律した機械技術者として社会生活を送ることができる態度を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP8) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、課題とその解決策を論理的かつ創造的に思考できる能力を修得する。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

### アドミッション・ポリシー

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(特に数学、物理)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 機械や装置のメカニズムに興味があり、その動作から機械や装置の仕組みについて自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 「ものづくり」に関心があり、新しいものを自ら作り出したという意欲と機械技術者として国内外で活躍したいという希望を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) チャレンジ精神を有し、自ら課題を見つけ、その解決のために粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

## 建築土木工学科

### ディプロマ・ポリシー

- (DP1) 建築土木に関する分野において必要と考えられる基本的な知識を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP2) 建築土木に関する分野において必要と考えられる専門的な知識・技術を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP3) 建築土木に関する分野の技術者あるいは社会人として国内外で活躍するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション力、および他者と連携・協働することのできるチームワーク力を身に付けている。〔汎用的技能〕
- (DP4) 社会人になるための心構え、および社会や人の役に立ちたいという意欲を持っている。〔態度・志向性〕
- (DP5) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、論理的かつ創造的な思考によって課題解決に取り組むことのできる基本的な能力を身に付けている。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

### カリキュラム・ポリシー

- (CP1) 建築学および土木工学を学修する上で必要となる基礎的・基本的な知識を、建築・土木分野の実践的な知識・技術と関連付けて身に付ける。〔知識・理解〕
- (CP2) 建築学と土木工学の根底をなす考え方の相違点と共通点を理解し、建築・土木分野で必要とされる実践的な専門知識と技術を修得する。〔知識・理解〕
- (CP3) 建築・土木技術者として地域社会および国内外で活躍するために必要なコミュニケーションスキルとプレゼンテーション力、および異文化理解のための国際感覚と英語力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP4) 建築・土木工学分野の課題を自ら探求し、必要かつ適切な手法・手順で解決につなげる能力ならびにそれらの過程を他者にわかりやすく説明できる表現力を、課題解決型学習(PBL)等を通して修得する。〔汎用的技能〕

- (CP5) 他者と協調・協働して行動できる自己管理能力とチームワーク力、目的を効率よく達成するための実践力や指導力、および得られた結果を適切に発信できる能力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP6) 建築・土木技術者として、地域社会および国際社会において貢献できる社会的責任感と高い倫理観を身に付ける。〔態度・志向性〕

### アドミッション・ポリシー

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(特に数学的思考力)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 建築・土木分野の知識・技術に興味があり、これまで造られてきた建築物や土木構造物に対して自分なりの考えを持っている。〔思考・判断〕
- (AP3) 建築・土木分野の「ものづくり」に関心があり、将来その分野の技術者として、地域社会および国内外で活躍したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕

- (CP7) アクティブ・ラーニング等を通して能動的に学修し続ける姿勢と、学科での様々な学修を通して自律した建築・土木技術者として社会生活を送ることができる態度を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP8) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、課題とその解決策を論理的かつ創造的に思考できる能力を修得する。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

- (AP4) 建築や土木に関連するプロジェクトなどの課外活動にも積極的に参加し、課題の発見と解決に向けて粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

## 原子力技術応用工学科

### ディプロマ・ポリシー

- (DP1) 原子力・放射線に関する分野において必要と考えられる基本的な知識を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP2) 原子力・放射線に関する分野において必要と考えられる専門的な知識・技術を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP3) 原子力・放射線に関する分野の技術者あるいは社会人として国内外で活躍するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション力、および他者と連携・協働することのできるチームワーク力を身に付けている。〔汎用的技能〕

- (DP4) 社会人になるための心構え、および社会や人の役に立ちたいという意欲を持っている。〔態度・志向性〕
- (DP5) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、論理的かつ創造的な思考によって課題解決に取り組むことのできる基本的な能力を身に付けている。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

### カリキュラム・ポリシー

- (CP1) 原子力および放射線を学修する上で必要となる基礎的・基本的な知識を、原子力・放射線分野の実践的な知識・技術と関連付けて身に付ける。〔知識・理解〕
- (CP2) 原子力・放射線と電気・機械・化学・生物分野との関連性を理解し、放射線計測や法令など原子力・放射線分野で求められる実践的な専門知識と技術を修得する。〔知識・理解〕
- (CP3) 原子力・放射線分野の技術者として国内外で活躍するために必要なコミュニケーションスキルとプレゼンテーション力、および異文化理解のための国際感覚と英語力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP4) 原子力・放射線分野の課題を自ら探求し、必要かつ適切な手法・手順で解決につなげる能力ならびにそれらの過程を他者にわかりやすく説明できる表現力を、課題解決型学習(PBL)等を通して修得する。〔汎用的技能〕

- (CP5) 他者と協調・協働して行動できる自己管理能力とチームワーク力、目的を効率よく達成するための実践力や指導力、および得られた結果を適切に発信できる能力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP6) 社会の一員としての技術者の意識と社会的責任感・倫理観、および社会に役立つ新しい製品や技術を主体的に創り出そうとする姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP7) アクティブ・ラーニング等を通して主体的に学び続ける姿勢と、学科での様々な学修を通して自律した技術者として社会生活を送ることができる態度を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP8) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、課題とその解決策を論理的かつ創造的に思考できる能力を修得する。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

### アドミッション・ポリシー

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(特に数学、物理)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 原子力や放射線の応用について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 原子力や放射線に関心があり、将来その分野の技術者として国内外で活躍し、社会に貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕

- (AP4) 原子力技術や放射線利用の発展に向け、現時点で自らができることに粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

## 環境学部

### 環境食品応用化学科

#### ディプロマ・ポリシー

- (DP1) 環境および食品の分野において必要と考えられる基本的な知識を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP2) 環境および食品の分野において必要と考えられる専門的な知識・技術を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP3) 環境あるいは食品の分野の技術者として、国内外で活躍するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション力、および他者と連携・協働することのできるチームワーク力を身に付けている。〔汎用的技能〕
- (DP4) 環境あるいは食品の分野の技術者として社会に出るための責任感と倫理観、および環境の保全・保護や食の安全・安心に貢献したいという意欲を持っている。〔態度・志向性〕
- (DP5) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、創造的かつ論理的な思考によって課題解決に取り組むことのできる基本的な能力を身に付けている。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

#### カリキュラム・ポリシー

- (CP1) 環境および食品を学修する上で必要となる基礎的・基本的な知識を、環境・食品分野の実践的な知識・技術と関連付けて身に付ける。〔知識・理解〕
- (CP2) 社会、自然、地球規模の視点で環境と食品を捉えることの重要性を理解し、環境・食品分野で求められる実践的な専門知識と技術を修得する。〔知識・理解〕
- (CP3) 環境や食品に関連した多種多様な情報の中から、科学的根拠に基づいて有用で信頼性の高い情報を適切に選択できる判断力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP4) 環境や食品に係る課題を自ら探求し、必要かつ適切な手法・手順で解決につなげる能力ならびにそれらの過程を他者にわかりやすく説明できる表現力を、課題解決型学習(PBL)を通して修得する。〔汎用的技能〕
- (CP5) 他者と協調・協働して行動できる自己管理能力とチームワーク力、目的を効率よく達成するための実践力や指導力、および得られた結果を適切に発信できる能力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP6) 倫理教育を通して倫理観と責任感、さらには環境や食品をめぐる倫理的諸問題を社会の一員として適正に判断する姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP7) アクティブ・ラーニング等を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける意欲と努力を惜しまない姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP8) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、課題とその解決策を論理的かつ創造的に思考できる能力を修得する。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

#### アドミッション・ポリシー

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(化学あるいは生物)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 環境汚染や食糧危機がもたらす影響について情報を整理し、自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 環境や食品の課題に関心を持ち、将来その解決・改善に取り組みたいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 本学科が関係するプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

### デザイン学科

#### ディプロマ・ポリシー

- (DP1) デザインを理解するために必要な基本的な知識、産業や文化における様々な課題や多様な価値観に対する理解、ならびにデザインを人や社会のために役立てるための考え方を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP2) 一般的なメディアや表現方法を用いて実用性のある基礎的な作品を制作することの意義、ならびに社会性のある価値基準や思想、独自のデザイン観に根ざした信念などに基づいて新規性または独創性のあるデザインの解決を導くための方法を理解している。〔知識・理解〕
- (DP3) 自らの所属するチームの中で円滑かつ創造的に協働できる協調性と自己管理能力、および目的達成のために必要となるコミュニケーション能力とプレゼンテーション力を身に付けている。〔汎用的技能〕
- (DP4) 社会の一員として求められる倫理観と責任感、および人類の生活の向上や産業の発展、持続可能な社会の実現に貢献したいという意欲を持っている。〔態度・志向性〕
- (DP5) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、創造的かつ論理的な思考ならびに試行錯誤を厭わない多様な手段で課題解決に取り組むことのできる基本的な能力を身に付けている。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

#### カリキュラム・ポリシー

- (CP1) デザインに関する基本的な知識と考え方を身に付けるとともに、それらを実際に活用できる形で理解する。〔知識・理解〕
- (CP2) 環境・ヒト・モノ・情報の関係性について各自の視点や立場から理解し、それらを産業・文化・生活に役立てるためのデザイン活動に生かすようにする。〔知識・理解〕
- (CP3) デザイナーあるいはデザインの専門家として国内外で活躍するために必要なコミュニケーションスキル、プレゼンテーション力、および異文化理解のための国際感覚を身に付ける。〔汎用的技能〕

## 01 使命・目的 / 人材の養成及び教育研究上の目的

- (CP4) デザインを通して解決すべき問題を常に意識し、それを必要かつ適切な手法・手順で解決につなげる能力とその過程を他者にわかりやすく説明できる表現力を、実習・演習における作品制作や課題解決型学習(PBL)を通して修得する。〔汎用的技能〕
- (CP5) 他者と円滑に協働できる協調性や自己管理能力などのチームワーク力、目的を効率よく達成するための実践力や指導力、およびその過程で求められる議論力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP6) デザインの社会的役割やデザイナーの職能を理解し、社会の一員として求められる責任感と倫理観、デザイナーあるいはデザインの専門家として社会に役立つ新しい価値観や製品を主体的に創り出そうとする姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕

### アドミッション・ポリシー

- (AP1) デザインに対する知的的好奇心と本学科の学びに必要な基礎学力(分野・教科を問わない)を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 「デザインの力」について、自らの手足と頭を使って調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 人と社会の未来に関心があり、新しい価値観の提案や豊かで美しく快適な生活環境の創造に意欲を持っている。〔関心・意欲〕

- (CP7) 作品制作体験やアクティブ・ラーニング等を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける意欲と困難な課題においても試行錯誤を厭わない姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP8) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、課題について論理的に思考できる能力および解決に向けて創造的な提案ができるコンセプト立案能力を修得する。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

- (AP4) 他者の意見に耳を傾け、幅広い価値観を理解することができ、自らの考えを他者に伝えるコミュニケーションを楽しむことができる。〔態度〕
- (AP5) 自らの感動をことば、絵、身体で表現したいという意欲やみんなで一緒に何かを生み出したいという思いを持っている。〔技能・表現〕

## 経営情報学部

### 経営情報学科

#### ディプロマ・ポリシー

- (DP1) データサイエンス・AIおよびICT、ならびに経営・経済の分野において必要と考えられる基本的な知識を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP2) 「経営情報」を情報・データ処理、およびヒト・モノ・カネ・地域の専門的視点で捉えとともに、地域活性化や産業振興と関連付けて理解している。〔知識・理解〕
- (DP3) データサイエンスやAI等を利活用した情報技術、経営・経済の専門家として、国内外で活躍するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション力、および他者と連携・協働することのできるチームワーク力を身に付けている。〔汎用的技能〕

- (DP4) 社会の一員として求められる倫理観と責任感、および高度情報社会のさらなる発展に貢献したいという意欲を持っている。〔態度・志向性〕
- (DP5) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、創造的かつ論理的な思考によって課題解決に取り組むことのできる基本的な能力を身に付けている。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

#### カリキュラム・ポリシー

- (CP1) データサイエンス・AIおよびICT、ならびに経営・経済に関する基本的な知識と考え方を身に付けるとともに、それらを体系的に理解する。〔知識・理解〕
- (CP2) データサイエンス・AIおよびICT、ならびに経営・経済に関する専門分野科目の履修を通して、情報・データ処理、およびヒト・モノ・カネ・地域の視点で「経営情報」を捉えることの重要性を理解する。〔知識・理解〕
- (CP3) データサイエンス・AIおよびICT、ならびに経営・経済等に関連した多種多様な情報の中から、基準や根拠に基づいて有用で信頼性の高い情報を適切に選択できる判断力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP4) 有益な情報に基づいて自ら課題を探索し、必要かつ適切な手法・手順で解決につなげる能力ならびにそれらの過程を他者にわかりやすく説明できる表現力を、課題解決型学習(PBL)を通して修得する。〔汎用的技能〕

- (CP5) 他者と協調・協働して行動できる自己管理能力とチームワーク力、目的を効率よく達成するための実践力や指導力、および得られた結果を適切に発信できる能力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP6) 倫理教育を通して倫理観と責任感、さらにはデータサイエンス・AIおよびICT、ならびに経営・経済をめぐる倫理的諸問題を社会の一員として適正に判断する姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP7) アクティブ・ラーニング等を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける意欲と努力を惜しまない姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP8) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、課題とその解決策を論理的かつ創造的に思考できる能力を身に付ける。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

### アドミッション・ポリシー

- (AP1) データサイエンス・ICT、企業経営、経済に対する知的好奇心と本学科の修学に必要な基礎学力を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) 高度情報社会におけるプラスとマイナスの両面について情報を整理し、自分なりの考えをもつことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 社会から歓迎されるデータサイエンティスト、およびデータ活用を推進する企業人、政策担当者として、国内外を問わず社会に幅広く貢献したいという意欲と向上心を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) 本学科が関係するプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

## スポーツ健康科学部

### スポーツ健康科学科

#### ディプロマ・ポリシー

- (DP1) スポーツ健康科学の分野において必要と考えられる基本的な知識を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP2) スポーツの指導者やサポートスタッフとしての職務遂行に必要な専門的知識・技術を身に付けている。〔知識・理解〕
- (DP3) スポーツ・健康産業界のビジネスマン、研究者、あるいは地域で活躍するスポーツ指導者として必要な分析力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション力、指導力およびチームワーク力を修得している。〔汎用的技能〕
- (DP4) 社会の一員として求められる倫理観と責任感、およびスポーツの発展や人々の健康づくり、社会の福祉に貢献したいという意欲を持っている。〔態度・志向性〕
- (DP5) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、創造的かつ論理的な思考によって課題解決に取り組むことのできる基本的な能力を身に付けている。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

#### カリキュラム・ポリシー

- (CP1) スポーツ健康科学を学修する上で必要となる基礎的・基本的な知識を、スポーツ・健康関連分野の実践的な知識・技術と関連付けて身に付ける。〔知識・理解〕
- (CP2) スポーツ、健康、ビジネス等に関する専門分野科目の履修を通して、スポーツの指導者やサポートスタッフとしての職務遂行に必要な専門的知識・技術を修得する。〔知識・理解〕
- (CP3) スポーツ・健康産業界のビジネスマン、研究者、あるいは地域で活躍するスポーツ指導者として必要となる分析力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション力、指導力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP4) 有用な情報に基づいて自ら課題を探索し、必要かつ適切な手法・手順で解決につなげる能力ならびにそれらの過程を他者にわかりやすく説明できる表現力を、課題解決型学習（PBL）を通して修得する。〔汎用的技能〕
- (CP5) 他者と協調・協働して行動できる自己管理能力とチームワーク力、目的を効率よく達成するための実践力や指導力、および得られた結果を適切に発信できる力を身に付ける。〔汎用的技能〕
- (CP6) 倫理教育を通して倫理観と責任感、さらにはスポーツや健康をめぐる倫理的諸問題を社会の一員として適正に判断する姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP7) アクティブ・ラーニング等を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける意欲と努力を惜しまない姿勢を身に付ける。〔態度・志向性〕
- (CP8) 学修経験を通して培った知識・技能等を総合的に活用し、課題とその解決策を論理的かつ創造的に思考できる能力を修得する。〔統合的な学修経験と創造的思考力〕

#### アドミッション・ポリシー

- (AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力と基本的な学習スキル（文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる）を備えている。〔知識・理解〕
- (AP2) スポーツが人の心身の健康に与える効果について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕
- (AP3) スポーツ健康科学の理論・技術を身に付けた指導者・スタッフとして、スポーツや健康関連の分野で貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕
- (AP4) スポーツあるいは健康関連のプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕
- (AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

### 大学院

#### ディプロマ・ポリシー

工学研究科では、博士前期課程および博士後期課程の学位プログラムに基づく体系的な教育課程に即して実践される教育と研究を通して、各専攻で定める以下の能力を身につけ、所定の単位を修得し、論文審査と学位規程に定める最終試験に合格したものに学位を授与する。

#### カリキュラム・ポリシー

工学研究科では、本学園の「建学の精神」に基づき、応用理工学専攻および社会システム学専攻の各ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるために、コース毎にカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を定め、博士前期課程においては2年間、後期課程においては3年間の学位プログラムに基づく体系的な教育課程を編成している。博士前期課程では、各専攻・各コースの専門分野における高度の知識・技術のみならず、広い視野に立って関連分野や学際領域の幅広い知識・技術・考え方を身につけることを目的に、広範なコースワークを重視した2専攻共通科目、全コース共通科目、複数コース共通科目およびコース専門科目からなるカリキュラムを構築している。博士後期課程においては、博士前期課程における幅広い専門教育と研究を基盤として、指導教員の下での研究指導に力点を置いた教育課程を編成している。

#### アドミッション・ポリシー

福井工業大学（以下、「本学」という。）大学院工学研究科（以下、「工学研究科」という。）は、応用理工学専攻と社会システム学専攻の2専攻で構成され、それぞれの専攻に博士前期課程（標準修業年限2年）と博士後期課程（同3年）からなる博士課程が置かれている。各専攻には複数のコースが設けられ、博士前期課程では主として高度専門職技術者の養成、博士後期課程では主として研究者の養成に重点を置いている。工学研究科では、学校法人金井学園（以下、「本学園」という。）の「建学の精神」および本学の「教育方針」に則り、専攻・課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）に定めた学修目標と人材育成を達成できる潜在的な能力を有した学生を求めて、以下の通り、コース毎にアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定めている。

### 大学院工学研究科

※本学の3つのポリシーは本学ホームページに掲載しております。本要覧掲載の3つのポリシーは一部抜粋したものです。

#### ディプロマ・ポリシー

##### 【応用理工学専攻】

###### 《博士前期課程》

以下の能力を身につけ、所定の単位を修得し、論文審査と学位規程に定める最終試験に合格したものに修士（工学）の学位を授与する。

1. 科学技術の意義と重要性を理解し、コースの専門分野で必要とされる高度な専門知識・技術と倫理観を身につけている。
2. 科学技術の発展のために、コースの専門分野で必要とされる研究能力を有している。
3. コースにおいて修得した高度な専門知識・技術と研究能力を基に、自ら課題を発見・設定し、論理的に解決する能力を身につけている。
4. コースの専門分野において得た研究成果を社会に公表し、修士論文を作成する能力を有している。

###### 《博士後期課程》

以下の能力を身につけ、論文審査と学位規程に定める最終試験に合格したものに博士（工学）の学位を授与する。

1. 科学技術の意義と重要性を深く理解し、コースの専門分野で必要とされるより高度な専門知識・技術と高い倫理観を身につけている。
2. 科学技術のさらなる発展のために、コースの専門分野の研究者として学際的・国際的な研究を推進できる能力を有している。
3. コースにおいて修得したより高度な専門知識・技術と研究能力を基に、柔軟な思考と高い見識で自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する能力を身につけている。
4. コースの専門分野において得た研究成果を社会に積極的に公表し、博士論文を作成する能力を有している。

##### 【社会システム学専攻】

###### 《博士前期課程》

以下の能力を身につけ、所定の単位を修得し、論文審査と学位規程に定める最終試験に合格したものに修士（工学）の学位を授与する。

1. 社会システムの意義と重要性を理解し、コースの専門分野で必要とされる高度な専門知識・技術と倫理観を身につけている。
2. 複雑な社会システムに対応するために、コースの専門分野で必要とされる研究能力を有している。
3. コースにおいて修得した高度な専門知識・技術と研究能力を基に、自ら課題を発見・設定し、論理的に解決する能力を身につけている。
4. コースの専門分野において得た研究成果を社会に公表し、修士論文を作成する能力を有している。

###### 《博士後期課程》

以下の能力を身につけ、論文審査と学位規程に定める最終試験に合格したものに博士（工学）の学位を授与する。

1. 社会システムの意義と重要性を深く理解し、より高度な専門知識・技術と高い倫理観を身につけている。
2. より複雑な社会システムに対応するために、コースの専門分野の研究者として学際的・国際的な研究を推進できる能力を有している。
3. コースにおいて修得したより高度な専門知識・技術と研究能力を基に、柔軟な思考と高い見識で自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する能力を身につけている。
4. コースの専門分野において得た研究成果を社会に積極的に公表し、博士論文を作成する能力を有している。

## カリキュラム・ポリシー

### 【応用理工学専攻】

#### 電気電子情報工学コース

エネルギー、半導体、デバイス、情報技術など広い領域で革新を続ける電気電子情報工学に関して国内外で活躍することのできる高度専門技術者・研究者を育成するために、電力工学、電子材料・デバイス工学、物性工学、制御工学、コンピュータ情報工

学、人工知能の各分野の教育と研究を通して専攻のディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

#### 宇宙情報科学コース

地球環境の保全および各種産業の発展に向け、グローバルな視点で宇宙空間の計測技術を活用できる高度専門技術者・研究者を育成するために、宇宙環境科学、地球環境計測工学、衛星通信工学、情報処理工学の各分野の教育と研究を通して専攻の

ディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

#### 機械工学コース

我が国が得意とする「ものづくり」をはじめ、あらゆる産業に関わりをもつ機械工学に関して国内外で活躍することのできる高度専門技術者・研究者を育成するために、材料工学、振動工学、流体工学、熱工学、機械システム工学の各分野の教育と研究を通

して専攻のディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

#### 環境生命化学コース

資源・エネルギー・地球環境・食料問題など人類が直面している重要課題の解決や持続可能な循環型社会の構築に向け、グローバルな視点で貢献できる高度専門技術者・研究者を育成するために、応用化学、環境科学、材料科学、応用生物学、生命科

学、生体工学の各分野の教育と研究を通して専攻のディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

#### 原子力技術応用工学コース

エネルギーの安定供給や各種産業の発展に向け、グローバルな視点で原子力発電技術および放射線応用技術を活用できる高度専門技術者・研究者を育成するために、原子力工学、原子力発電工学、放射線応用工学の各分野の教育と研究を通して専攻

のディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

### 【社会システム学専攻】

#### 土木工学コース

安全安心で持続的発展が可能な社会の基盤となる社会システムの設計・構築・維持・管理に国内外で貢献することのできる高度専門技術者・研究者を育成するために、土木計画学、水工学、環境工学、地盤工学、構造工学、防災工学の各分野の教育と研究

を通して専攻のディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

#### 建築学コース

建築と都市・地域社会の調和を図り、快適な都市・居住空間の実現に貢献できる高度専門技術者・研究者を育成するために、建築論・計画、設計、伝統木造建築、建築構造工学、建築環境・設

備の各分野の教育と研究を通して専攻のディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

#### デザイン学コース

生活、技術、文化、芸術などの理解を踏まえて豊かな生活環境を生み出すための魅力的な提案とその実現に貢献できる高度な専門性を備えた人材を育成するために、生活創造科学、生産・環境デザイン学、情報・伝達デザイン学の各分野の実践的な教育と

研究を通して専攻のディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

#### 経営情報学コース

今日の高度情報社会で活躍できる能力と倫理観を兼ね備えた高度専門技術者・研究者を育成するために、経営学、政策科学、情報科学、並びにデータサイエンスの各分野の教育と研究を通

して専攻のディプロマ・ポリシーで定められた能力を修得させる教育課程を、博士前期課程および博士後期課程のそれぞれにおいて編成している。

### アドミッション・ポリシー

#### 【応用理工学専攻】

#### 電気電子情報工学コース

##### 《博士前期課程》

1. 電気電子情報工学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. 電気電子情報工学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識および技術を備えている人
3. 高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

##### 《博士後期課程》

1. 電気電子情報工学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. 電気電子情報工学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. 電気電子情報工学分野の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

#### 宇宙情報科学コース

##### 《博士前期課程》

1. 宇宙情報科学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. 宇宙情報科学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3. 高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

##### 《博士後期課程》

1. 宇宙情報科学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. 宇宙情報科学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. 宇宙情報科学分野の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

#### 機械工学コース

##### 《博士前期課程》

1. 機械工学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. 機械工学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3. 将来、高度な専門性と倫理観を必要とされる職業を担い、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

##### 《博士後期課程》

1. 機械工学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. 機械工学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. 機械工学分野の技術者・研究者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

#### 環境生命化学コース

##### 《博士前期課程》

1. 環境生命化学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. 環境生命化学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3. 将来、高度な専門性と倫理観を必要とされる職業を担い、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

##### 《博士後期課程》

1. 環境生命化学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. 環境生命化学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. 環境生命化学分野の技術者・研究者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

#### 原子力技術応用工学コース

##### 《博士前期課程》

1. 原子力技術応用工学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. 原子力技術応用工学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3. 将来、高度な専門性と倫理観を必要とされる職業を担い、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

##### 《博士後期課程》

1. 原子力技術応用工学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. 原子力技術応用工学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. 原子力技術応用工学分野の技術者・研究者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

## 【社会システム学専攻】

### 土木工学コース

#### 《博士前期課程》

1. 土木工学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. 土木工学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識および技術を備えている人
3. 高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

#### 《博士後期課程》

1. 土木工学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. 土木工学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. 土木工学の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

### 建築学コース

#### 《博士前期課程》

1. 建築学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. 建築学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識および技術を備えている人
3. 高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

#### 《博士後期課程》

1. 建築学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. 建築学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. 建築学の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

### デザイン学コース

#### 《博士前期課程》

1. デザイン学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. デザイン学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3. 高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

#### 《博士後期課程》

1. デザイン学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. デザイン学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. デザイン学分野の高度な専門性を身につけたスペシャリストとしての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

### 経営情報学コース

#### 《博士前期課程》

1. 経営情報学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2. 経営情報学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3. 高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

#### 《博士後期課程》

1. 経営情報学コースの教育研究内容に高い関心を持ち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2. 経営情報学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3. 経営情報学分野の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人



学位記授与式(大学)



学位記授与式(大学院)

## 02 学修の成果・卒業認定

### 02-1 評価方法

#### 単位認定と評定

単位修得の認定には、試験(筆記試験・レポート・その他)の評定をもって行い、100点を満点として60点以上が所定単位を修得したことになります。さらに合格した科目の公表は、秀(90以上)、優(80以上)、良(70以上)、可(60以上)の4種類で表され、不合格の場合は不可(60未満)で表します。

一度単位を修得した科目については、単位の取り消しや再履修ができません。

#### 成績評価、履修指導にGPA制度を採用

本学では、それぞれの学生が受講登録した科目について、一人ひとりのGPA(Grade Point Average)を算出しています。GPAは「成績加重平均値」といわれるものです。大学のカリキュラムにおいては、専門分野が多岐にわたり、個々の学生の修学目標も異なります。このように多様なカリキュラムにおいて、「学ぶ量」だけでなく「学ぶ質」を、できるだけ公平に評価する方法としてGPA制度があります。このGPAを参考にしながら、履修指導や学生生活支援、就職相談などが行われます。成績や学習意欲向上のための目安とされています。

### 02-2 卒業・修了に必要な単位数・取得可能な学位

#### 卒業・修了までに必要な単位数

**学部** 卒業までに次の要件を含め合計124単位以上の修得が必要です。(必修科目+選択科目)

|                                           | 入学年度            | 分 野                                                                                                                | 系                | 卒業条件(区分別卒業所要単位数)                 |  |                        |                               |                                   |
|-------------------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|--|------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|
| 工<br>学<br>部                               | 令和7<br>(2025)年度 | 教養分野                                                                                                               | 人文社会             | 10単位以上<br>(A～C 群の各群において最低2単位を含む) |  | 必修科目を含めて<br>47単位以上     | 必修科目を含めた<br>修得単位総数<br>124単位以上 |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | 外国語              | 必修科目を含めて20単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | キャリア形成           | 必修科目を含めて 5単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | 工学基礎             | 必修科目を含めて12単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 | 専門分野                                                                                                               | (各学科の専門分野課程表による) |                                  |  | 必修科目を含めて<br>77単位以上     |                               |                                   |
| 環<br>境<br>学<br>部                          | 令和7<br>(2025)年度 | 教養分野                                                                                                               | 人文社会             | 10単位以上<br>(A～C 群の各群において最低2単位を含む) |  | 必修科目を含めて<br>43単位以上     | 必修科目を含めた<br>修得単位総数<br>124単位以上 |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | 外国語              | 必修科目を含めて20単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | キャリア形成           | 必修科目を含めて 5単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | 科学基礎             | 必修科目を含めて 8単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 | 専門分野                                                                                                               | (各学科の専門分野課程表による) |                                  |  | 必修科目を含めて<br>81単位以上     |                               |                                   |
| 経<br>営<br>情<br>報<br>学<br>部                | 令和7<br>(2025)年度 | 教養分野                                                                                                               | 人文社会             | 10単位以上<br>(A～C 群の各群において最低2単位を含む) |  | 必修科目を含めて<br>43単位以上     | 必修科目を含めた<br>修得単位総数<br>124単位以上 |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | 外国語              | 必修科目を含めて20単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | キャリア形成           | 必修科目を含めて 5単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | 科学基礎             | 必修科目を含めて 8単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 | 専門分野                                                                                                               | (各学科の専門分野課程表による) |                                  |  | 必修科目を含めて<br>81単位以上     |                               |                                   |
| ス<br>ポ<br>ー<br>ツ<br>健<br>康<br>科<br>学<br>部 | 令和7<br>(2025)年度 | 教養分野                                                                                                               | 人文社会             | 10単位以上<br>(A～C 群の各群において最低2単位を含む) |  | 必修科目を<br>含めて<br>43単位以上 | 左記の<br>所要単位数<br>以外に<br>4単位以上  | 必修科目を<br>含めた<br>修得単位総数<br>124単位以上 |
|                                           |                 |                                                                                                                    | 外国語              | 必修科目を含めて20単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | キャリア形成           | 必修科目を含めて 5単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 |                                                                                                                    | 科学基礎             | 必修科目を含めて 8単位以上                   |  |                        |                               |                                   |
|                                           |                 | 専門分野                                                                                                               | (各学科の専門分野課程表による) |                                  |  | 必修科目を<br>含めて<br>77単位以上 |                               |                                   |
|                                           |                 | ※スポーツ健康科学部については、各分野(系)別に定められた卒業所要単位数以外に、教養分野及び専門分野において、<br>4単位以上の単位取得が必要である。この4単位については、個人の興味によって全ての分野の中から任意に選択できる。 |                  |                                  |  |                        |                               |                                   |

授業は2つに分類された科目と教職課程があります。

#### 必修科目

学科・専攻コース別に修得が義務づけられています。

#### 選択科目

それぞれの希望に応じて選択・履修します。

+

#### 教職課程

教員免許状の取得に必要な科目も設定されています。

### 大学院工学研究科 博士前期課程

博士前期課程修了までに次の要件を含め合計30単位以上の修得が必要です。(必修科目+選択科目)

| 入学年度        | 専攻                   | 分野      | 修了条件           |                                             |
|-------------|----------------------|---------|----------------|---------------------------------------------|
| 令和7(2025)年度 | 応用理工学専攻<br>社会システム学専攻 | 2専攻共通科目 | 6単位以上          | 必修科目を含めた<br>修得単位数総数<br>30単位以上<br>かつ研究指導を受ける |
|             |                      | 専門分野科目  | 必修科目を含めて20単位以上 |                                             |

### 大学院工学研究科 博士後期課程

博士後期課程修了には次の要件を修めることが必要です。

| 入学年度        | 専攻                   | 分野     | 修了条件                               |
|-------------|----------------------|--------|------------------------------------|
| 令和7(2025)年度 | 応用理工学専攻<br>社会システム学専攻 | 専門分野科目 | 必修科目を含めて4単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けることが必要 |

### 取得可能な学位

本学において授与する学位の専攻分野の名称は、以下の通りです。

#### 学士の学位

| 学部名       | 学科名        | 専攻分野名    |
|-----------|------------|----------|
| 工学部       | 電気電子情報工学科  | 工学       |
|           | 機械工学科      |          |
|           | 建築土木工学科    |          |
|           | 原子力技術応用工学科 |          |
| 環境学部      | 環境食品応用化学科  | 環境科学     |
|           | デザイン学科     | デザイン学    |
| 経営情報学部    | 経営情報学科     | 経営情報学    |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科  | スポーツ健康科学 |

#### 修士の学位

| 研究科名  | 専攻名       | 専攻分野名 |
|-------|-----------|-------|
| 工学研究科 | 応用理工学専攻   | 工学    |
|       | 社会システム学専攻 |       |

#### 博士の学位

| 研究科名  | 専攻名       | 専攻分野名 |
|-------|-----------|-------|
| 工学研究科 | 応用理工学専攻   | 工学    |
|       | 社会システム学専攻 |       |

### 本学で取得できる教職免許状の種類

#### ■学部

| 教員免許状の種類    |      | 対象学部・学科   |                                    |
|-------------|------|-----------|------------------------------------|
| 高等学校教諭一種免許状 | 工業   | 工学部       | 電気電子情報工学科、機械工学科、建築土木工学科、原子力技術応用工学科 |
|             |      | 環境学部      | デザイン学科                             |
|             | 情報   | 経営情報学部    | 経営情報学科                             |
|             | 理科   | 環境学部      | 環境食品応用化学科                          |
|             | 保健体育 | スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科                          |
| 中学校教諭一種免許状  | 理科   | 環境学部      | 環境食品応用化学科                          |
|             | 保健体育 | スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科                          |

#### ■大学院工学研究科

| 教員免許状の種類    |    | 対象専攻・コース  |                                                      |
|-------------|----|-----------|------------------------------------------------------|
| 高等学校教諭専修免許状 | 工業 | 応用理工学専攻   | 電気電子情報工学コース、宇宙情報科学コース、機械工学コース、環境生命化学コース、原子力技術応用工学コース |
|             |    | 社会システム学専攻 | 土木工学コース、建築学コース、デザイン学コース                              |
|             | 情報 | 社会システム学専攻 | 経営情報学コース                                             |

## 03 教職員情報

### 03-1 教員数

#### 職階別専任教員数 大学

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 学 部 名     | 学 科 名      | 教 授 |   | 准教授 |   | 講 師 |   | 助 教 |   | 計  |   |
|-----------|------------|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|----|---|
|           |            | 男   | 女 | 男   | 女 | 男   | 女 | 男   | 女 | 男  | 女 |
| 工 学 部     | 電気電子情報工学科  | 10  |   |     |   |     |   |     |   | 10 | 0 |
|           | 機械工学科      | 9   |   | 1   |   |     |   |     |   | 10 | 0 |
|           | 建築土木工学科    | 11  |   | 1   |   |     |   |     |   | 12 | 0 |
|           | 原子力技術応用工学科 | 5   |   | 2   | 1 |     |   |     |   | 7  | 1 |
| 環 境 学 部   | 環境食品応用化学科  | 6   | 1 |     |   | 1   |   |     |   | 7  | 1 |
|           | デザイン学科     | 3   | 2 | 2   |   |     | 1 |     |   | 5  | 3 |
| 経営情報学部    | 経営情報学科     | 10  |   | 2   | 1 | 1   |   |     |   | 13 | 1 |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科  | 9   |   | 2   | 1 |     |   |     |   | 11 | 1 |
| 基盤教育機構    |            | 2   | 1 | 2   |   | 5   |   | 5   | 1 | 14 | 2 |
| 計         |            | 65  | 4 | 12  | 3 | 7   | 1 | 5   | 1 | 89 | 9 |

#### 職階別専任教員数 大学院工学研究科 博士前期課程

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 専 攻 名     | 教 授 |   | 准教授 |   | 講 師 |   | 計  |   |
|-----------|-----|---|-----|---|-----|---|----|---|
|           | 男   | 女 | 男   | 女 | 男   | 女 | 男  | 女 |
| 応用理工学専攻   | 29  | 1 | 3   | 1 | 1   |   | 33 | 2 |
| 社会システム学専攻 | 34  | 3 | 8   | 2 | 3   |   | 45 | 5 |
| 計         | 63  | 4 | 11  | 3 | 4   | 0 | 78 | 7 |

#### 職階別専任教員数 大学院工学研究科 博士後期課程

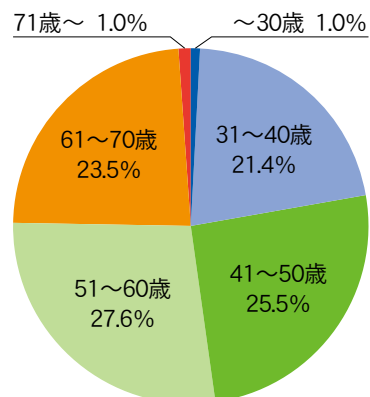
令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 専 攻 名     | 教 授 |   | 准教授 |   | 講 師 |   | 計  |   |
|-----------|-----|---|-----|---|-----|---|----|---|
|           | 男   | 女 | 男   | 女 | 男   | 女 | 男  | 女 |
| 応用理工学専攻   | 26  | 1 | 3   | 1 | 1   |   | 30 | 2 |
| 社会システム学専攻 | 31  | 2 | 6   | 1 | 1   |   | 38 | 3 |
| 計         | 57  | 3 | 9   | 2 | 2   | 0 | 68 | 5 |

#### 年齢別専任教員数 令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 年 齢    | 人 数 |
|--------|-----|
| ～30歳   | 1   |
| 31～40歳 | 21  |
| 41～50歳 | 25  |
| 51～60歳 | 27  |
| 61～70歳 | 23  |
| 71歳～   | 1   |
| 計      | 98  |

#### 年齢別専任教員割合 令和7(2025)年5月1日現在



## 専任教員数及び非常勤教員数

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 学 部 名     | 学 科 名      | 専任教員数 | 非常勤教員数 | 計    |
|-----------|------------|-------|--------|------|
| 工 学 部     | 電気電子情報工学科  | 10    | 4      | 14   |
|           | 機械工学科      | 10    | 0      | 10   |
|           | 建築土木工学科    | 12    | 5      | 17   |
|           | 原子力技術応用工学科 | 8     | 1      | 9    |
| 環 境 学 部   | 環境食品応用化学科  | 8     | 1      | 9    |
|           | デザイン学科     | 8     | 14     | 22   |
| 経営情報学部    | 経営情報学科     | 14    | 12     | 26   |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科  | 12    | 16     | 28   |
| 基盤教育機構    |            | 16    | 27     | 43   |
| 計         |            | 98    | 80     | 178  |
| 割 合       |            | 55.3% | 44.7%  | 100% |

## 専任教員1人当たりの学生数

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 学 部 名     | 学 科 名      | 専任教員数 | 学 生 数 | 専任教員1人当り学生 |
|-----------|------------|-------|-------|------------|
| 工 学 部     | 電気電子情報工学科  | 10    | 296   | 29.6       |
|           | 機械工学科      | 10    | 227   | 22.7       |
|           | 建築土木工学科    | 12    | 322   | 26.9       |
|           | 原子力技術応用工学科 | 8     | 56    | 7.0        |
| 環 境 学 部   | 環境食品応用化学科  | 8     | 88    | 11.0       |
|           | デザイン学科     | 8     | 180   | 22.5       |
| 経営情報学部    | 経営情報学科     | 14    | 436   | 31.1       |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科  | 12    | 321   | 26.8       |
| 基盤教育機構    |            | 16    | —     | —          |
| 計         |            | 98    | 1,926 | 19.7       |

※工学部 電気電子情報工学科には、工学部 電気電子工学科を含めて算出

小数点第2を四捨五入

環境学部 環境食品応用化学科には、環境情報学部 環境食品応用化学科、及び環境・食品科学科を含めて算出

環境学部 デザイン学科には、環境情報学部 デザイン学科を含めて算出

経営情報学部 経営情報学科には、環境情報学部 経営情報学科を含めて算出

## 03-2 職員数

## 大学事務局 職員数

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 所 属     | 男  | 女  | 計  |
|---------|----|----|----|
| 事務局長    | 1  |    | 1  |
| 事務局次長   | 2  |    | 2  |
| 庶務IR課   | 2  | 4  | 6  |
| 学務課     | 10 | 10 | 20 |
| 入試広報課   | 6  | 4  | 10 |
| 就職支援課   | 1  | 4  | 5  |
| 社会連携推進課 | 3  | 1  | 4  |
| 情報メディア課 | 2  |    | 2  |
| 計       | 27 | 23 | 50 |

## 04 入学者・在学者・卒業者の状況

### 04-1 入学者

入学者数は次のとおりです。

#### 学部

(単位:人)

| 学 部 名     | 学 科 名      | 令和7(2025) |    | 令和6(2024) |    | 令和5(2023) |    | 令和4(2022) |    |
|-----------|------------|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|
|           |            | 男         | 女  | 男         | 女  | 男         | 女  | 男         | 女  |
| 工 学 部     | 電気電子工学科    |           |    |           |    |           |    | 73        | 1  |
|           | 電気電子情報工学科  | 70        | 4  | 70        | 5  | 77        | 3  |           |    |
|           | 機械工学科      | 45        | 1  | 43        | 2  | 64        | 2  | 72        | 0  |
|           | 建築土木工学科    | 84        | 9  | 71        | 5  | 69        | 10 | 79        | 7  |
|           | 原子力技術応用工学科 | 8         | 1  | 9         | 1  | 15        | 0  | 14        | 4  |
| 環境情報学部    | 環境食品応用化学科  |           |    |           |    |           |    | 21        | 6  |
|           | 経営情報学科     |           |    |           |    |           |    | 90        | 19 |
|           | デザイン学科     |           |    |           |    |           |    | 26        | 18 |
| 環 境 学 部   | 環境食品応用化学科  | 17        | 10 | 12        | 4  | 18        | 4  |           |    |
|           | デザイン学科     | 22        | 26 | 27        | 20 | 25        | 19 |           |    |
| 経営情報学部    | 経営情報学科     | 102       | 20 | 102       | 9  | 90        | 11 |           |    |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科  | 73        | 18 | 70        | 17 | 65        | 19 | 62        | 13 |
| 計         |            | 421       | 89 | 404       | 63 | 423       | 68 | 437       | 68 |
|           |            | 510       |    | 467       |    | 491       |    | 505       |    |

#### 大学院工学研究科

(単位:人)

| 専 攻 名  |           | 令和7(2025) |   | 令和6(2024) |   | 令和5(2023) |   | 令和4(2022) |   |
|--------|-----------|-----------|---|-----------|---|-----------|---|-----------|---|
|        |           | 男         | 女 | 男         | 女 | 男         | 女 | 男         | 女 |
| 博士前期課程 | 応用理工学専攻   | 11        | 2 | 9         | 1 | 16        | 1 | 8         | 1 |
|        | 社会システム学専攻 | 3         | 3 | 5         | 1 | 1         | 1 | 4         | 3 |
|        | 計         | 14        | 5 | 14        | 2 | 17        | 2 | 12        | 4 |
| 博士後期課程 | 応用理工学専攻   | 1         | 1 | 0         | 0 | 0         | 0 | 1         | 0 |
|        | 社会システム学専攻 | 1         | 0 | 1         | 0 | 4         | 1 | 4         | 0 |
|        | 計         | 2         | 1 | 1         | 0 | 4         | 1 | 5         | 0 |

※秋入学者を含む

### 04-2 収容定員・在学者数・除退者数

収容定員数は次のとおりです。

#### 学部

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 学 部 名     | 学 科 名      | 収 容 定 員 |     |     |     | 計     |
|-----------|------------|---------|-----|-----|-----|-------|
|           |            | 1年      | 2年  | 3年  | 4年  |       |
| 工 学 部     | 電気電子工学科    |         |     |     | 80  | 980   |
|           | 電気電子情報工学科  | 80      | 80  | 80  |     |       |
|           | 機械工学科      | 70      | 70  | 80  | 80  |       |
|           | 建築土木工学科    | 70      | 70  | 70  | 70  |       |
|           | 原子力技術応用工学科 | 20      | 20  | 20  | 20  |       |
| 環境情報学部    | 環境食品応用化学科  |         |     |     | 40  | 180   |
|           | 経営情報学科     |         |     |     | 90  |       |
|           | デザイン学科     |         |     |     | 50  |       |
| 環 境 学 部   | 環境食品応用化学科  | 30      | 30  | 40  |     | 250   |
|           | デザイン学科     | 50      | 50  | 50  |     |       |
| 経営情報学部    | 経営情報学科     | 100     | 100 | 90  |     | 290   |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科  | 80      | 80  | 70  | 70  | 300   |
| 計         |            | 500     | 500 | 500 | 500 | 2,000 |

#### 大学院工学研究科

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 専 攻 名  |           | 収 容 定 員 |    |    | 計  |
|--------|-----------|---------|----|----|----|
|        |           | 1年      | 2年 | 3年 |    |
| 博士前期課程 | 応用理工学専攻   | 17      | 17 |    | 34 |
|        | 社会システム学専攻 | 8       | 8  |    | 16 |
|        | 計         | 25      | 25 |    | 50 |
| 博士後期課程 | 応用理工学専攻   | 4       | 4  | 4  | 12 |
|        | 社会システム学専攻 | 2       | 2  | 2  | 6  |
|        | 計         | 6       | 6  | 6  | 18 |

在学者数は次のとおりです。

### 学部

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 学 部 名     | 学 科 名      | 在 学 者 数 |    |     |    |     |    |     |    | 計     |
|-----------|------------|---------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-------|
|           |            | 1 年     |    | 2 年 |    | 3 年 |    | 4 年 |    |       |
|           |            | 男       | 女  | 男   | 女  | 男   | 女  | 男   | 女  |       |
| 工 学 部     | 電気電子情報工学科  | 70      | 4  | 68  | 5  | 72  | 3  |     |    | 901   |
|           | 電気電子工学科    |         |    |     |    |     |    | 73  | 1  |       |
|           | 機械工学科      | 45      | 1  | 42  | 2  | 61  | 2  | 74  | 0  |       |
|           | 建築土木工学科    | 84      | 9  | 70  | 5  | 64  | 11 | 73  | 6  |       |
|           | 原子力技術応用工学科 | 8       | 1  | 9   | 1  | 15  | 0  | 18  | 4  |       |
| 環境情報学部    | 環境食品応用化学科  |         |    |     |    |     |    | 20  | 5  | 176   |
|           | 経営情報学科     |         |    |     |    |     |    | 88  | 19 |       |
|           | デザイン学科     |         |    |     |    |     |    | 26  | 18 |       |
| 環 境 学 部   | 環境食品応用化学科  | 17      | 10 | 12  | 4  | 16  | 4  |     |    | 199   |
|           | デザイン学科     | 22      | 26 | 27  | 19 | 23  | 19 |     |    |       |
| 経営情報学部    | 経営情報学科     | 102     | 20 | 100 | 9  | 87  | 11 |     |    | 329   |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科  | 73      | 18 | 67  | 15 | 60  | 19 | 62  | 7  | 321   |
| 計         |            | 421     | 89 | 395 | 60 | 398 | 69 | 434 | 60 | 1,926 |
|           |            | 510     |    | 455 |    | 467 |    | 494 |    |       |

### 大学院工学研究科

令和7(2025)年5月1日現在(単位:人)

| 専 攻 名  |           | 在 学 者 数 |   |     |   |     |   | 計  |
|--------|-----------|---------|---|-----|---|-----|---|----|
|        |           | 1 年     |   | 2 年 |   | 3 年 |   |    |
|        |           | 男       | 女 | 男   | 女 | 男   | 女 |    |
| 博士前期課程 | 応用理工学専攻   | 11      | 2 | 10  | 1 |     |   | 24 |
|        | 社会システム学専攻 | 4       | 3 | 5   | 1 |     |   | 13 |
| 計      |           | 15      | 5 | 15  | 2 |     |   | 37 |
|        |           | 20      |   | 17  |   |     |   |    |
| 博士後期課程 | 応用理工学専攻   | 2       | 1 | 0   | 0 | 0   | 0 | 3  |
|        | 社会システム学専攻 | 2       | 0 | 2   | 0 | 6   | 2 | 12 |
| 計      |           | 4       | 1 | 2   | 0 | 6   | 2 | 15 |
|        |           | 5       |   | 2   |   | 8   |   |    |

### 社会人学生数

各年度5月1日現在(単位:人)

| 年 度    | 令和7(2025) | 令和6(2024) | 令和5(2023) | 令和4(2022) |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 博士前期課程 | 1         | 1         | 0         | 0         |
| 博士後期課程 | 11        | 11        | 11        | 12        |

※社会人を対象とした選抜(入試)により入学した学生

※研究生、科目等履修生等は含めない

除退学者数は次のとおりです。

### 学部

(単位:人)

| 年 度   | 令和6(2024) | 令和5(2023) | 令和4(2022) | 令和3(2021) |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 退 学 者 | 38        | 46        | 44        | 49        |
| 除 籍 者 | 5         | 6         | 9         | 6         |
| 計     | 43        | 52        | 53        | 55        |

### 大学院工学研究科

(単位:人)

| 年 度   | 令和6(2024) | 令和5(2023) | 令和4(2022) | 令和3(2021) |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 退 学 者 | 0         | 0         | 0         | 2         |
| 除 籍 者 | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 計     | 0         | 0         | 0         | 2         |

※満期退学・単位取得満期退学を除く

## 04 入学者・在学者・卒業者の状況

### 04-3 卒業

卒業生・修了者数は次のとおりです。

#### 学部

(単位:人)

| 学 部 名     | 学 科 名      | 卒 業 者 数   |           |           |           |
|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|           |            | 令和6(2024) | 令和5(2023) | 令和4(2022) | 令和3(2021) |
| 工 学 部     | 電気電子工学科    | 75        | 88        | 88        | 90        |
|           | 機械工学科      | 82        | 83        | 95        | 86        |
|           | 建築土木工学科    | 72        | 87        | 80        | 70        |
|           | 原子力技術応用工学科 | 26        | 33        | 26        | 23        |
| 環境情報学部    | 環境・食品科学科   |           |           | 33        | 33        |
|           | 環境食品応用化学科  | 26        | 49        |           |           |
|           | デザイン学科     | 50        | 67        | 60        | 47        |
|           | 経営情報学科     | 97        | 73        | 95        | 100       |
| スポーツ健康科学部 | スポーツ健康科学科  | 73        | 80        | 70        | 76        |
| 計         |            | 501       | 560       | 547       | 525       |

※前期末卒業を含む

#### 大学院工学研究科

(単位:人)

| 専 攻 名  |           | 修 了 者 数   |           |           |           |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|        |           | 令和6(2024) | 令和5(2023) | 令和4(2022) | 令和3(2021) |
| 博士前期課程 | 応用理工学専攻   | 17        | 9         | 4         | 6         |
|        | 社会システム学専攻 | 2         | 9         | 3         | 6         |
|        | 計         | 19        | 18        | 7         | 12        |
| 博士後期課程 | 応用理工学専攻   | 1         | 1         | 2         | 0         |
|        | 社会システム学専攻 | 2         | 3         | 3         | 3         |
|        | 計         | 3         | 4         | 5         | 3         |

※前期末卒業を含む

#### 学位授与数

(単位:人)

| 学 位 名        | 令和6(2024)年度授与数 |     | 令和5(2023)年度授与数 |     | 令和4(2022)年度授与数 |     | 累 計    |
|--------------|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-----|--------|
|              | 前期末            | 後期末 | 前期末            | 後期末 | 前期末            | 後期末 |        |
| 学士(工学)       | 3              | 252 | 9              | 282 | 8              | 281 | 29,163 |
| 学士(環境科学)     | 2              | 24  | 1              | 48  |                | 33  | 292    |
| 学士(経営情報学)    | 5              | 92  | 3              | 70  |                | 95  | 653    |
| 学士(デザイン学)    |                | 50  | 2              | 65  | 4              | 56  | 363    |
| 学士(スポーツ健康科学) | 1              | 72  |                | 80  | 1              | 69  | 515    |
| 修士(工学)       |                | 19  | 2              | 16  |                | 7   | 810    |
| 博士(工学)－課程博士  |                | 3   | 3              | 1   | 1              | 4   | 37     |
| 博士(工学)－論文博士  |                |     |                | 1   |                |     | 28     |

#### 教育職員免許状授与者数

(単位:人)

| 免許状の種類    |      | 令和6(2024)年度授与者数 | 令和5(2023)年度授与者数 | 令和4(2022)年度授与者数 |
|-----------|------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 高等学校専修免許状 | 工業   | 0               | 0               | 0               |
|           | 情報   | 0               | 0               | 0               |
| 高等学校一種免許状 | 工業   | 15              | 11              | 9               |
|           | 理科   | 1               | 3               | 2               |
|           | 情報   | 2               | 2               | 3               |
|           | 保健体育 | 18              | 23              | 20              |
| 中学校一種免許状  | 理科   | 1               | 3               | 2               |
|           | 保健体育 | 14              | 22              | 16              |

## 04-4 進学及び就職

## 就職実績

高い就職率を誇るFUT。専門分野の知識を身につけ、豊かな教養と倫理観をもつ技術者として、新たな第一歩を踏み出しています。

## 就職・進学状況

(令和7(2025)年3月 卒業・修了者)(単位:人)

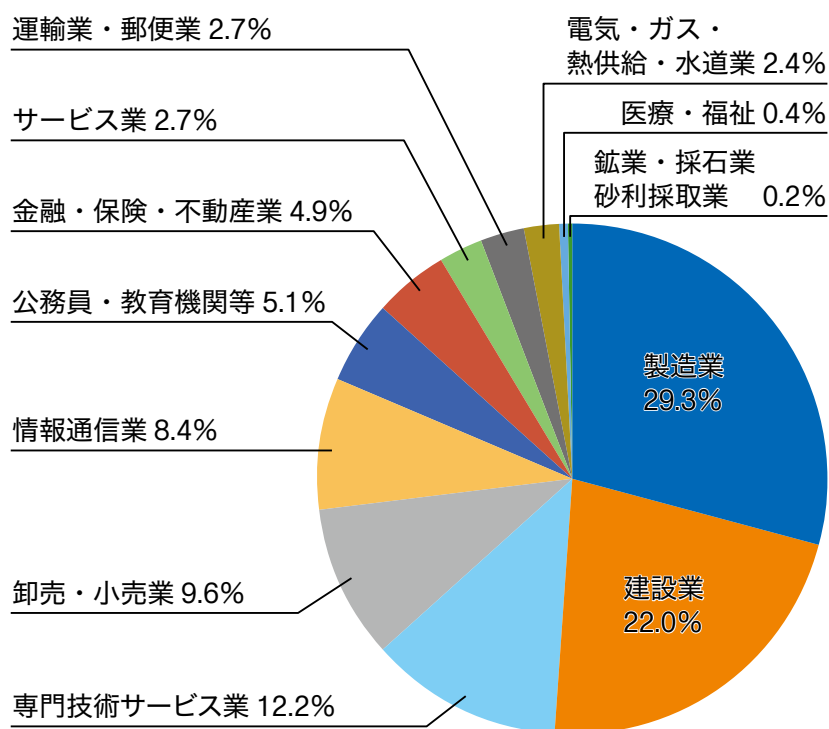
|        | 学 部          | 大学院工学研究科      | 合 計          |
|--------|--------------|---------------|--------------|
| 卒業生数   | 501          | 23            | 524          |
| 就職希望者数 | 453          | 22            | 475          |
| 就職者数   | 450          | 22            | 472          |
| 進学者数   | 32           | 1             | 33           |
| 就 職 率  | <b>99.3%</b> | <b>100.0%</b> | <b>99.4%</b> |

※就職率＝就職者数÷就職希望者数×100

## 地域別就職割合



## 業種別就職状況



## 地元企業へのUターン就職率

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 福 井   | 石 川   | 富 山   |
| 65.0% | 48.0% | 51.4% |
| 信 越   | 近 畿   | 東 海   |
| 46.7% | 52.9% | 50.0% |



学内合同企業研究会

# 05 研究

## 05-1 外部資金・受託研究費

### 外部研究受入件数の年度毎推移

(単位:件)

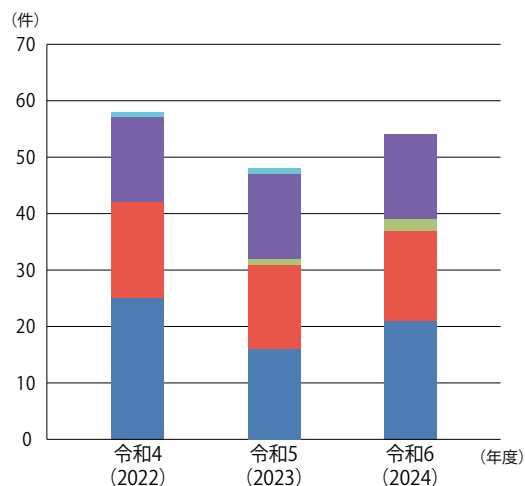
|             | 共同研究費 | 受託研究費 | 試験研究費 | 奨学寄付金 | 技術開示・指導料 | 総件数 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|----------|-----|
| 令和6(2024)年度 | 21    | 16    | 2     | 15    | 0        | 54  |
| 令和5(2023)年度 | 16    | 15    | 1     | 15    | 1        | 48  |
| 令和4(2022)年度 | 25    | 17    | 0     | 15    | 1        | 58  |

### 外部研究受入資金の年度毎推移

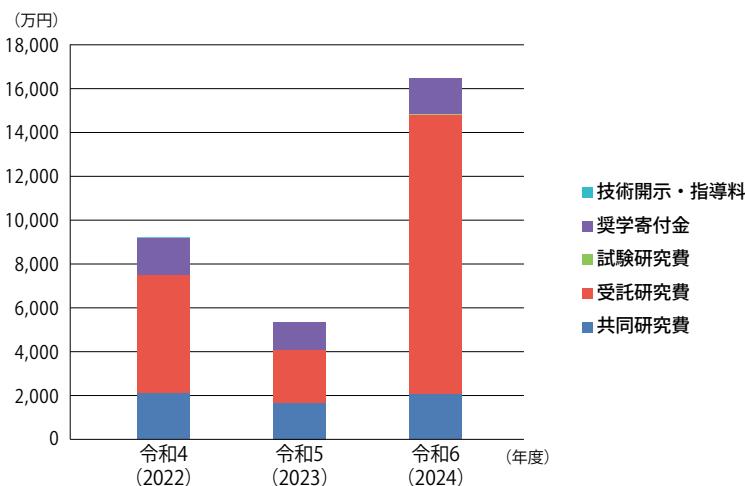
(単位:円)

|             | 共同研究費      | 受託研究費       | 試験研究費   | 奨学寄付金      | 技術開示・指導料 | 総額          |
|-------------|------------|-------------|---------|------------|----------|-------------|
| 令和6(2024)年度 | 20,456,500 | 127,220,300 | 330,000 | 16,500,000 | 0        | 164,506,800 |
| 令和5(2023)年度 | 16,492,385 | 24,040,581  | 275,000 | 12,370,000 | 399,300  | 53,577,266  |
| 令和4(2022)年度 | 20,877,950 | 53,866,531  | 0       | 17,113,863 | 120,000  | 91,978,344  |

### 外部研究受け入れ件数(年度毎の新規外部資金)



### 外部研究資金受け入れ(年度毎の新規外部資金)



## 05-2 知的財産

### 特許

| 発 明 名 称                                          | 出 願 人                                                                    | 本学発明者                                  | 特許番号        |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------------|
| ゲル状玩具製作キット                                       | 学校法人金井学園                                                                 | 砂 川 武 義<br>江 藤 浩 一<br>金 井 兼 速<br>水 酵 一 | 特許第6068015号 |
| 初期雨水除去装置とこれを備えた雨水タンク装置、雨水タンク装置の通信ネットワーク、初期雨水除去方法 | 学校法人金井学園                                                                 | 笠 井 利 浩                                | 特許第6860898号 |
| 加熱攪拌装置                                           | 学校法人金井学園<br>関西電力株式会社                                                     | 中 尾 一 成                                | 特許第6927510号 |
| 放射線感受性ゲルインジケータ、及びその調製方法、及びその使用方法、及びその処理方法        | 学校法人金井学園<br>株式会社NUCLEAR TECHNOLOGY<br>若狭湾エネルギー研究センター                     | 砂 川 武 義<br>吉 橋 幸 子                     | 特許第6714231号 |
| 加熱冷却攪拌装置                                         | 学校法人金井学園<br>関西電力株式会社                                                     | 中 尾 一 成                                | 特許第7076091号 |
| 磁気分離装置                                           | 国立大学法人大阪大学<br>国立研究開発法人物質・材料研究機構<br>株式会社四国総合研究所<br>学校法人金井学園<br>荏原工業洗浄株式会社 | 西 嶋 茂 宏<br>三 島 史 人                     | 特許第7415242号 |
| 旋回流自動洗浄式雨水タンクとこれを用いた旋回流自動洗浄式雨水タンク装置およびその組立方法     | 学校法人金井学園<br>日盛興産株式会社                                                     | 笠 井 利 浩                                | 特許第6667818号 |
| 監視用湿度計測システムおよび監視用湿度計測方法                          | 学校法人金井学園<br>ニュープレクス株式会社                                                  | 中 道 正 紀<br>中 尾 一 成                     | 特許第7177991号 |
| 接触状態維持方法並びに接触状態維持装置、これを備える鉄道車両用パンタグラフおよび列車       | 学校法人金井学園<br>筑波大学                                                         | 山 下 清 隆<br>西 山 直 杜                     | 特許第7436977号 |

| 発 明 名 称                                                 | 出 願 人                                 | 本学発明者   | 特許番号            |
|---------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------|-----------------|
| セル連結型雨水貯留装置及びその洗浄方法                                     | 学校法人金井学園                              | 笠 井 利 浩 | 特許第7460127号     |
| 除染剤                                                     | 学校法人金井学園<br>太平電業株式会社                  | 砂 川 武 義 | 特許第7079942号     |
| ダイズの生長促進方法及びミリ波照射したダイズ種子、<br>および、植物種子にミリ波を照射するミリ波照射システム | 学校法人金井学園<br>国立大学法人福井大学                | 小 松 節 子 | 特許第7489660号     |
| ポリビニルアルコール系樹脂含有組成物                                      | 学校法人金井学園<br>日本酢ビ・ポパール株式会社             | 砂 川 武 義 | 特許公開2023-125820 |
| 雨水飲用化浄水装置及び雨水飲用化方法                                      | 学校法人金井学園                              | 笠 井 利 浩 | 特許公開2023-118626 |
| 医療用単語意味表現学習方法を用いた病名学習済みモデルとこれを用いた解釈性のある病名推定システム及びその推定方法 | 学校法人金井学園                              | 芥 子 育 雄 | 特許公開2023-148993 |
| 鉛板の切断方法および鉛板切断装置                                        | 学校法人金井学園<br>太平電業株式会社                  | 砂 川 武 義 | 特許第7589923号     |
| バルブシステム及びこれを取り付けた初期雨水除去装置                               | 学校法人金井学園<br>兼工業株式会社                   | 笠 井 利 浩 | 特許第7541685号     |
| 加熱装置                                                    | 学校法人金井学園<br>国立大学法人大阪大学<br>テクノ電気工業株式会社 | 中 道 正 紀 | 特許公開2024-162381 |
| 壁面への物品の固定構造及び壁面固定フレーム                                   | 学校法人金井学園<br>デンカ株式会社                   | 笠 井 利 浩 | 特許第7629122号     |

### 05-3 地域連携研究推進センター(研究部門)

地域連携研究推進センターは、福井工業大学の教授陣が持つ専門知識と最先端設備を生かして、企業や公的機関との技術提携を促進します。

#### 1. 委託研究・試験研究、共同研究の促進

産業界との連携を密にしながら、求められる技術開発に大学全体で取り組むため、地域連携研究推進センター運営委員会で検討。各専門分野の教授陣に研究依頼を行い成果をあげます。

#### 2. 各業界への技術移転の推進

最先端の研究成果を即座に社会・産業界へと還元すべく、産学共同特許(工業所有権)のライセンスリングなど技術移転を促進。企

業と大学(研究グループ)との知的所有権に関する契約検討、事務・管理も担います。

#### 3. 新産業の創出、新企業のバックアップ

技術および人材のインキュベータとして、事業化・製品化に向けた研究・開発をコーディネート。

"F.U.T 発ベンチャー事業"も視野に入れ、新産業創出・新規企業の支援に努めます。

### 05-4 AI&IoTセンター

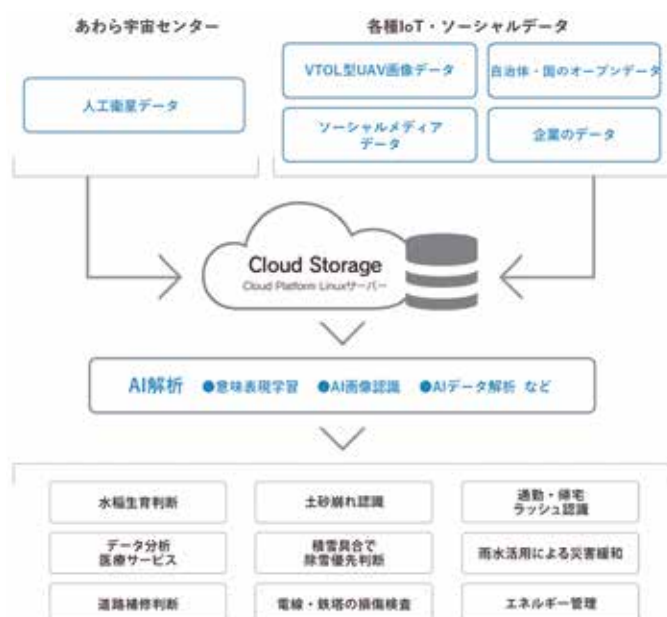


## FUT AI&IoT Center

平成31(2019)年4月、第5期科学技術基本計画(Society5.0)の地域への貢献をミッションとし、AIとIoTを活用した地域のサポート、人材の育成、産官学連携の活性化を目的として設置しました。

衛星データ、ドローンによる空撮画像に加えて、IoTセンサー、ソーシャルメディアからセンシングしたデータ、県や自治体が所有するオープンデータ、企業が所有するビッグデータの掛け合わせとAI解析による新たな価値創出により、地域の活性化と産業創造に関わるAI&IoTの支援・展開を行っています。

|     |         |
|-----|---------|
| 場 所 | 大学6号館6階 |
|-----|---------|



## 05-5 まちづくりデザインセンター



## FUT まちづくりデザインセンター

FUT Community Design Center

少子高齢化や人口減少など、社会環境の著しい変化を見据え、持続可能なまちづくりや伝統産業をはじめとした地場産業に貢献する拠点、まちの未来構想にこたえることを目的として、令和4(2022)年4月に設立しました。より良い社会環境を次代に継承し、イノベーションを起こす地域デザインの先駆的な役割を果たすことを目指しています。



## 05-6 ウェルネス&amp;スポーツサイエンスセンター



## FUT Wellness & Sports Science Center

感染予防のための新しい生活様式や超高齢社会といった変わりゆく状況の中、人々の健康増進やスポーツ活動を時代に応じた形で研究・支援することを目的として、令和4(2022)年4月に設立しました。産官学医金の連携を加速させ、さらなる研究の活性化と社会に実装可能な提案や開発を行うことで、地域の発展に貢献することを目指しています。



## 05-7 未来ロボティクスセンター

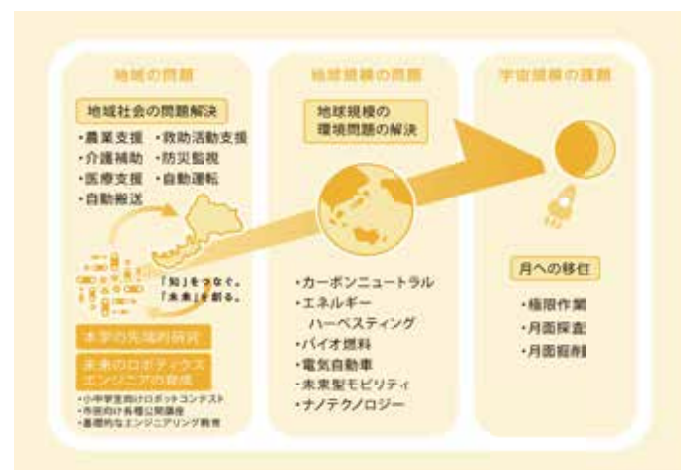


## FUT Future Robotics Center

高齢化や人手不足の著しい農業現場や災害現場では、福井工業大学が開発している農業支援ロボットや災害対応ロボットの導入し、環境問題にはバイオ燃料やAIを活用した様々な自動車関連技術を総動員してそれらの改善に務めます。

また、本学が進める「ふくいPHOENIX/ハイパープロジェクト」と連携し、月面に到達した際に必要となる掘削・支持杭貫入ロボットやローバーの開発も積極的に推進し、それらの商品化や管理を福井県下の企業に依頼することで、地域社会の活性化を目指します。

加えて、持続可能な研究開発のため、我々の持っている「知」を次世代に託し、未来へつなげていきます。



## 05-8 あわら宇宙センター



福井工業大学では、あわらキャンパスにある衛星地上局を活用して、平成15(2003)年から本格的に衛星データ利用に関する研究を行ってきました。平成28(2016)年に文部科学省・私立大学研究ブランディング事業に採択された「ふくいPHOENIXプロジェクト」によってその活動を発展させ、令和2(2020)年からは月周回軌道まで視野を広げた「ふくいPHOENIXハイパープロジェクト」としてJAXAとの共同研究契約を締結し、超小型深宇宙探査機エクレスの電波を受信などの成果を挙げてきました。

この度あわらキャンパス衛星地上局は、既設の3つのパラボラアンテナに加えて、口径13.5mパラボラアンテナを新設し「地球周回軌道から月軌道までをカバーする衛星地上局」となり、宇宙からの大規模データを基に「宇宙×AI」による新しい価値の創造に向けたこれまでの取り組みをさらに大きく展開していくため、あわら宇宙センターを設立しました。

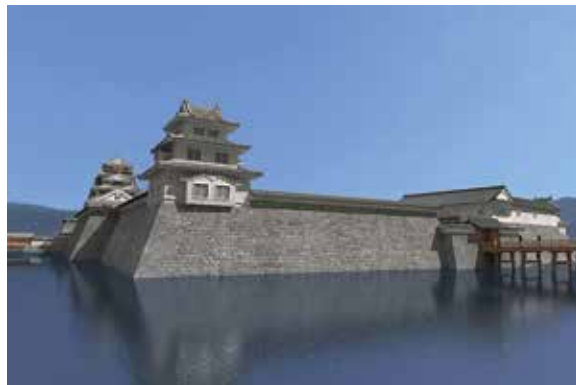


## 05-9 FUT福井城郭研究所

FUT福井城郭研究所は、日本の近世城郭や城下町とまちづくりを総合的に研究することを目的に、平成25(2013)年本学図書館内に設置されました。

## 活動・事業内容

1. 文献資料の蒐集：福井城、福井城下町および日本の近世城郭や城下町に関する文献資料、研究図書などの蒐集と整理。
2. 城郭、城下町に関わる調査研究。
3. 研究年報・報告書、論文集などの刊行。
4. 講演会やシンポジウム、展覧会などの開催。
5. 福井のまちづくりに対する提言や実践。



建築監修を行なった福井城復元VRの成果の一部

## 05-10 福井工業大学アイソトープ研究所

福井工業大学アイソトープ研究所は、放射性同位元素(RI)を使用した研究、教育を行う事を目的に昭和53(1978)年5月2日に国からの設置の許可が与えられた施設を中核に、管理及び運営を行っています。本研究所では、コバルト60やストロンチウム90など様々な非密封RIを学生実験や文部科学省人材育成事業や企業との共同研究に使用しています。非密封RIの利用が可能な本研究所は、産業、医療、農業分野に幅広く貢献しています。



非密封線RIの使用

## 06 社会貢献

### 06-1 福井工業大学未来塾

地域の皆さま向けのオープンカレッジです。各界の著名な講師をお迎えする「講演会」と一般市民向けの「FUT公開講座」を開催しています。

講演会来場者数

| 令和6(2024)年度 | 令和5(2023)年度 | 令和4(2022)年度 | 令和3(2021)年度 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 71 名        | 277 名       | 327 名       | 327 名       |

#### 未来塾(講演会)

|                          |                                              |                           |                                                     |
|--------------------------|----------------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------------------------|
| 令和6(2024)年度<br>(11月2日開催) | 渡部 潤一(国立天文台上席教授)<br>「見上げてみよう、今宵の星空」          | 令和4(2022)年度<br>(10月23日開催) | 宮城野親方(元横綱 白鵬)<br>「夢への挑戦～弱さを受け入れた時、強さを手にできる～」        |
| 令和5(2023)年度<br>(9月30日開催) | 毛利 衛(宇宙飛行士・日本科学未来館名誉館長)<br>「宇宙から見た地球生命のつながり」 | 令和3(2021)年度<br>(12月19日開催) | ウルフ アロン(柔道家・東京オリンピック金メダリスト)<br>「失敗から学んだこと～金メダルへの道～」 |

#### FUT公開講座

|       | 令和6(2024)年度 | 令和5(2023)年度 | 令和4(2022)年度 | 令和3(2021)年度 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 年間講座数 | 38 講座       | 50 講座       | 48 講座       | 47 講座       |
| 総参加者数 | 277 名       | 342 名       | 440 名       | 483 名       |

### 06-2 学科主催講座、大学連携センター(Fスクエア)開講科目

#### 学科主催講座

|             |                  | 公開講座テーマ                                        | 総参加者数 |
|-------------|------------------|------------------------------------------------|-------|
| 令和6(2024)年度 | 前期<br>(9月21日開催)  | 応用化学で挑む豊かな食の再現                                 | 58 名  |
|             | 後期<br>(12月8日開催)  | 福井や企業のサステナビリティとワークエンゲージメントを考える                 | 62 名  |
| 令和5(2023)年度 | 前期<br>(9月9日開催)   | 未来社会を創る建築土木の役割―未来社会の実現と宇宙利用―                   | 92 名  |
|             | 後期<br>(12月23日開催) | 未来社会を創る原子力の役割を考える                              | 153 名 |
| 令和4(2022)年度 | 前期<br>(10月22日開催) | 未来を拓く宇宙人材育成の拠点を目指して                            | 185 名 |
|             | 後期<br>(3月11日開催)  | ロボティクスが活躍する未来を語る                               | 72 名  |
| 令和3(2021)年度 | 前期<br>(7月21日開催)  | スポーツ・健康科学による地域貢献を目指して―スポーツ健康科学科の“これまで”と“これから”― | 95 名  |
|             | 後期<br>(11月17日開催) | 国際協力とSDGs―福井から海外へ、そして海外から福井へ―                  | 63 名  |

#### 大学連携センター(Fスクエア)での開講科目

|           | 令和6(2024)年度 | 令和5(2023)年度 | 令和4(2022)年度 | 令和3(2021)年度 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 本学教員の開講科目 | 7 科目        | 2 科目        | 5 科目        | 5 科目        |

## 06-3 FUT科学実験キャラバン、出前講義・出前実験 等

さまざまな場所で理科教育普及のお手伝いをしています。

### FUT科学実験キャラバン、出前講義・出前実験 実施対象件数及び人数

|              | 令和6(2024)年度 |        | 令和5(2023)年度 |        | 令和4(2022)年度 |        | 令和3(2021)年度 |        |
|--------------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|
| FUT科学実験キャラバン | 29件         | 1,170名 | 43件         | 1,948名 | 43件         | 1,801名 | 19件         | 498名   |
| 出前講義・出前実験    | 15件         | 389名   | 19件         | 664名   | 7件          | 154名   | 10件         | 860名   |
| 合 計          | 44件         | 1,559名 | 62件         | 2,612名 | 50件         | 1,955名 | 29件         | 1,358名 |

## 06-4 ロボット事業

レゴ・マインドストームを用いた親子対象のロボット製作教室とWRO(World Robot Olympiad) Japan の福井地区予選会・福井大会を開催しています。

| WRO福井地区予選会        | 令和6(2024)年度 |     | 令和5(2023)年度 |     | 令和4(2022)年度 |     | 令和3(2021)年度 |     |
|-------------------|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|
| ROBOMISSION 小学生部門 | 6組          | 12名 | 5組          | 12名 | 3組          | 7名  | 3組          | 9名  |
| ROBOMISSION 中学生部門 | —           |     | —           |     | —           |     | —           |     |
| ROBOMISSION 高校生部門 | 9組          | 23名 | 6組          | 14名 | 11組         | 25名 | 8組          | 20名 |
| 合 計               | 15組         | 35名 | 11組         | 23名 | 14組         | 32名 | 11組         | 29名 |

## 06-5 自治体との連携

### 協定締結自治体等

| 自治体等名                  | 締結年月日             | 協定種別                    |
|------------------------|-------------------|-------------------------|
| 福井県                    | 令和5(2023)年1月30日   | 包括連携協定                  |
| 池田町                    | 令和3(2021)年11月11日  | 相互連携協定                  |
| 大野市                    | 平成30(2018)年4月18日  | 相互協力協定                  |
| 若狭町                    | 平成29(2017)年9月20日  | 相互連携協定<br>※学校法人金井学園との調印 |
| 越前市・武生商工会議所・<br>越前市商工会 | 平成23(2011)年10月25日 | 相互連携協定                  |
| 坂井市                    | 平成23(2011)年5月24日  | 相互協力協定                  |
| 敦賀市・敦賀商工会議所            | 平成22(2010)年10月1日  | 相互連携協定                  |
| 福井市                    | 平成21(2009)年11月26日 | 相互協力協定                  |
| 鯖江市・鯖江商工会議所            | 平成21(2009)年7月29日  | 相互連携協定                  |
| あわら市                   | 平成17(2005)年7月20日  | 相互協力協定                  |
| 勝山市                    | 平成16(2004)年4月14日  | 相互協力協定                  |

※それぞれの自治体等と協議会、連絡会等を実施し、現在様々な取組を実施しています。

## 自治体等の連携イベント

|             |                                                                                     |                                                                                               |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6(2024)年度 | さばえ環境フェア<br>鯖江市中学生科学実験教室<br>ゲッター選手権大会<br>WAKASAみらいフェス<br>めがねのまちさばえSDGsフェス<br>めがねフェス | 越前モノづくりフェスタ<br>若狭三方五湖ソーデーマーチ<br>みさき祭<br>さばポタ de さばれぼ<br>ふくいSDGsフェス<br>走っちゃだめよ 歩こう! 運動会 in 池田町 |
| 令和5(2023)年度 | 鯖江市中学生理科教室<br>鯖江市内企業出前講義<br>あわら市ロボットプログラミング体験会<br>越前おおの産業と食彩フェア2023                 | 越前モノづくりフェスタ2023<br>鯖江市環境フェア<br>福井市出前講義<br>おもしろフェスタ in サンドーム福井                                 |
| 令和4(2022)年度 | 鯖江中学校理科教室<br>鯖江市内企業出前講義<br>さばポタ自転車遠足<br>みさき祭<br>若フェス<br>ロボットプログラミング体験会              | 池田町民文化祭<br>ゲッター選手権2022<br>越前おおの産業と食彩2022<br>越前モノづくりフェスタ2022<br>福井市環境フェア<br>福井市出前講義            |
| 令和3(2021)年度 | 鯖江中学生理科教室<br>鯖江市企業オンライン研究室見学                                                        | FUTプラス!クリスマスコンサート in 池田<br>六呂師ハンモックイベント                                                       |

## ふくいSDGsパートナーに登録しました

福井工業大学の教育・研究・社会貢献活動を通じて、SDGsに資する活動を推進するために、福井県版SDGs活動への参画となる「ふくいSDGs/パートナー」への登録を申請し、令和3年5月31日付けで登録されました。

本学の中期計画に基づき、地域の様々な団体の皆様や行政と連携し、持続可能な地域づくりを進めます。  
○世界が直面する社会・環境問題を解決するリーダーとなる人材を育成します。  
○国や地域のステークホルダーと連携協力し、持続可能な地域社会を創造するための協創拠点の役割を果たします。  
○SDGsの達成に貢献する持続可能な大学キャンパスの構築を教職協働で目指します。

また併せて、本学と相互連携協定を締結している鯖江市が設置する「さばえSDGsグローバルクラブ」への登録を申請し、令和3年7月15日付けで登録されました。

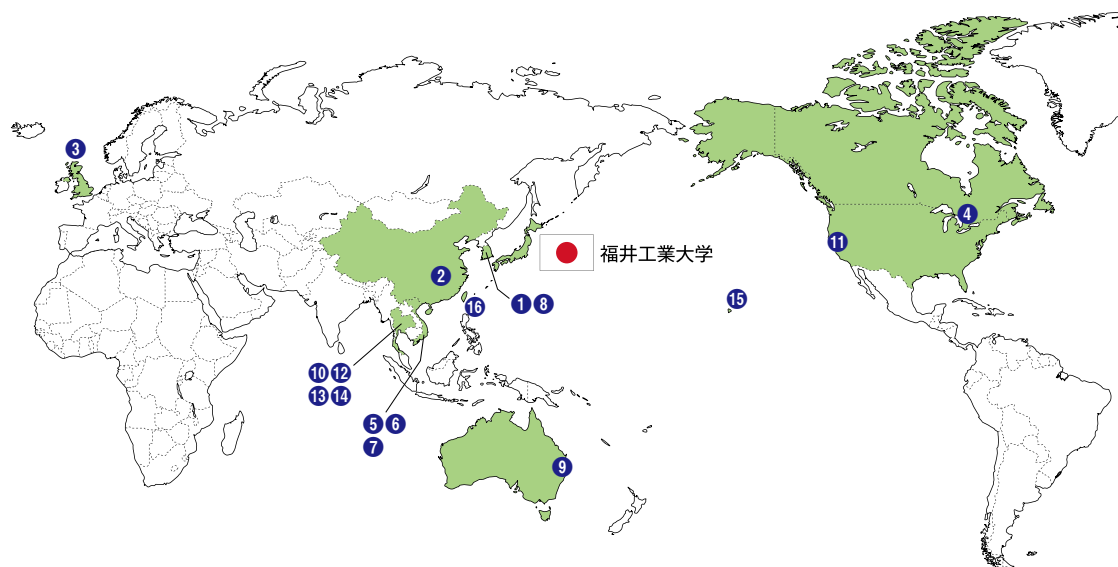


## 06-6 他機関との連携協定

## 協定締結大学

| 大学名                                                                                       | 締結年月日            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 佐野日本大学短期大学                                                                                | 令和4(2022)年4月1日   |
| 上越教育大学                                                                                    | 令和2(2020)年9月10日  |
| 大阪大学レーザー科学研究所                                                                             | 平成31(2019)年2月1日  |
| 福井県産学官連携プラットフォーム<br>※連携する大学等：福井大学、福井県立大学、敦賀市立看護大学、<br>仁愛大学、福井医療大学、仁愛女子短期大学、<br>福井工業高等専門学校 | 平成30(2018)年9月30日 |
| 東京都市大学                                                                                    | 平成30(2018)年7月17日 |
| 大阪大学工学部 及び 大学院工学研究科                                                                       | 平成30(2018)年7月1日  |

海外協定校を中心に、様々な国際交流を実施しています



### 大学等間交流協定

|                                                                                     | 機関名                                                                                                   | 国名      | 締結年月日            | 協定種別 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------|------|
|    | ① カトリック関東大学校 Catholic Kwandong University                                                             | 韓国      | 昭和58(1983)年2月24日 | 学術交流 |
|  | ② 中南大学 Central South University                                                                       | 中国      | 昭和60(1985)年6月15日 |      |
|  | ③ グリンドゥール大学 Glyndwr University                                                                        | イギリス    | 平成21(2009)年6月26日 |      |
|  | ④ オンタリオ工科大学 University of Ontario Institute of Technology                                             | カナダ     | 平成23(2011)年6月29日 |      |
|  | ⑤ ダナン大学 The University of Da Nang                                                                     | ベトナム    | 平成24(2012)年6月 1日 |      |
|  | ⑥ ベトナム教育訓練省 国際教育開発局 Vietnam International Education Development of Ministry of Education and Training | ベトナム    | 平成26(2014)年2月20日 |      |
|  | ⑦ ホーチミン市工業大学 Ho Chi Minh City University of Technology                                                | ベトナム    | 平成26(2014)年7月28日 |      |
|  | ⑧ 明知大学校 Myongji University                                                                            | 韓国      | 平成28(2016)年5月27日 |      |
|  | ⑨ サザンクロス大学 Southern Cross University                                                                  | オーストラリア | 平成28(2016)年8月 5日 |      |
|  | ⑩ ワラヤ・アロンコン・ラチャパット大学 Valaya Alongkorn Rajabhat University                                             | タイ      | 平成29(2017)年3月17日 |      |
|  | ⑪ カリフォルニア州立大学 サンマルコス校 California State University San Marcos                                          | アメリカ    | 平成30(2018)年3月26日 |      |
|  | ⑫ ランパーンラチャパット大学 Lampang Rajabhat University                                                           | タイ      | 令和2(2020)年2月24日  |      |
|  | ⑬ キングモンクット工科大学ラッカバン校 King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang                                | タイ      | 令和3(2021)年4月30日  |      |
|  | ⑭ ラジャマンガラ工科大学ランナー校 Rajamangala University of Technology Lanna                                         | タイ      | 令和4(2022)年5月12日  |      |
|  | ⑮ ハワイ大学 University of Hawai'i                                                                         | アメリカ    | 令和5(2023)年6月 7日  |      |
|  | ⑯ 南臺科技大学 Southern Taiwan University of Science and Technology                                         | 台湾      | 令和5(2023)年6月26日  |      |

### ASEAN事務所

本学は、東南アジア諸国連合地域における国際交流及び留学生受入れの活動拠点として、タイ・バンコクにASEAN 事務所を開設しています。

|       |                                                                                                              |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地   | 5th Floor, Office No. 5/1 333/11 United Tower Sukhumvit 55, Khlongtan-Nuea, Wattana, Bangkok 10110 Thailand. |
| 設立年月日 | 平成25(2013)年2月1日                                                                                              |

## 大学間交流

本学が推進している海外協定校との交流事業は、多岐にわたっています。カナダのオンタリオ工科大学とは、原子力技術応用工学科が文部科学省の事業に基づき、対面での講義を実施しています。また、タイのランパーンラチャパット大学およびラジャマンガラ工科大学ランナー校とは、デザイン学科がタイの伝統工芸品に関する共同研究を進め、教員や学生が現地でフィールドワークに取り組んでいます。令和7(2025)年1月には新モンゴル日馬富士学園の教職員ら11名が本学を訪れ、今後さらなる連携を深めるための協議を行いました。

また新たに、令和6(2024)年度から韓国の明知大学校との相互訪問による文化交流プログラムが始まりました。第一弾として、令和7(2025)年2月に12名の日本人学生が現地での交流プログラムに参加し、韓国語レッスンや韓国文化を学びました。



新モンゴル日馬富士学園教職員本学視察

## OCPS

### (Overseas Challenge Program for Students)

本学は、国際的な視野を身に付け、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、様々な海外留学プログラムを実施しています。長期休暇を利用して海外の協定校や語学学校で英語力の向上と国際感覚の養成を目指す「海外語学研修」、海外での就業体験や教育実習体験を通して将来のキャリア形成の動機付けを目的とした「海外インターンシップ」、自発的かつ挑戦的に海外留学を希望する学生を支援するための留学支援制度「Seize the day」など、魅力的で充実したプログラムです。本学では、これらの活動の総称を「OCPS」と名付け、学生のますますの国際化をサポートしていきます。



ハワイ研修

## 国別留学生一覧

### 学部

各年度5月1日現在(単位:人)

| 年度        | 中国 |   | タイ |   | ベトナム |    | マレーシア |   | モンゴル |   | ミャンマー |   | バングラデシュ |   | 韓国 |   | インドネシア |   | 台湾 |   | ロシア |   | スリランカ |   | コンゴ民主共和国 |   | 合計 |    |
|-----------|----|---|----|---|------|----|-------|---|------|---|-------|---|---------|---|----|---|--------|---|----|---|-----|---|-------|---|----------|---|----|----|
|           | 男  | 女 | 男  | 女 | 男    | 女  | 男     | 女 | 男    | 女 | 男     | 女 | 男       | 女 | 男  | 女 | 男      | 女 | 男  | 女 | 男   | 女 | 男     | 女 | 男        | 女 | 男  | 女  |
| 令和7(2025) | 25 | 5 | 2  | 1 | 21   | 5  | 6     |   | 10   | 4 | 9     | 4 | 6       |   |    |   | 6      |   |    |   | 1   |   | 2     | 1 | 1        |   | 89 | 20 |
| 令和6(2024) | 28 | 8 | 2  | 2 | 23   | 10 | 8     |   | 4    | 2 | 6     | 1 | 4       |   |    |   | 5      | 1 |    |   | 1   |   |       |   |          |   | 81 | 24 |
| 令和5(2023) | 28 | 7 | 4  | 2 | 22   | 13 | 10    | 1 | 2    |   | 2     | 1 | 2       |   | 1  |   | 4      | 2 |    |   |     |   |       |   |          |   | 75 | 26 |
| 令和4(2022) | 25 | 6 | 5  | 4 | 23   | 14 | 13    | 2 | 1    | 1 | 1     |   | 2       |   | 1  |   | 4      | 2 | 1  |   |     |   |       |   |          |   | 76 | 29 |

## 大学院工学研究科

### 博士前期課程

| 年度        | 中国 |   | タイ |   | ベトナム |   | ミャンマー |   | インドネシア |   | パキスタン |   | 合計 |   |
|-----------|----|---|----|---|------|---|-------|---|--------|---|-------|---|----|---|
|           | 男  | 女 | 男  | 女 | 男    | 女 | 男     | 女 | 男      | 女 | 男     | 女 | 男  | 女 |
| 令和7(2025) | 5  | 2 | 2  |   | 1    |   | 1     |   |        |   | 1     |   | 10 | 2 |
| 令和6(2024) | 5  |   | 1  |   |      | 1 | 1     | 1 | 1      |   |       |   | 8  | 2 |
| 令和5(2023) | 7  |   |    |   |      | 2 | 1     | 1 | 1      |   |       |   | 9  | 3 |
| 令和4(2022) | 6  |   |    |   |      | 1 |       |   |        |   |       |   | 6  | 1 |

### 博士後期課程

各年度5月1日現在(単位:人)

| 年度        | 中国 |   | タイ |   | ベトナム |   | ミャンマー |   | インドネシア |   | パキスタン |   | 合計 |   |
|-----------|----|---|----|---|------|---|-------|---|--------|---|-------|---|----|---|
|           | 男  | 女 | 男  | 女 | 男    | 女 | 男     | 女 | 男      | 女 | 男     | 女 | 男  | 女 |
| 令和7(2025) |    | 1 | 1  |   |      |   |       |   |        | 1 |       |   | 1  | 2 |
| 令和6(2024) |    | 1 | 1  |   |      |   |       |   |        | 1 |       |   | 1  | 2 |
| 令和5(2023) |    | 1 | 1  | 1 |      |   |       |   |        | 1 |       |   | 1  | 3 |
| 令和4(2022) | 1  |   | 1  | 1 |      |   |       |   |        | 1 |       |   | 2  | 2 |

## OCPSを利用して海外渡航をした学生数

(単位:人)

| 年度        | 令和6(2024)年度 | 令和5(2023)年度 | 令和4(2022)年度 | 令和3(2021)年度 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 工学部       | 31          | 22          | 26          | —           |
| 環境情報学部    | 15          | 25          | 12          | —           |
| 環境学部      | 13          | —           | —           | —           |
| 経営情報学部    | 4           | 2           | —           | —           |
| スポーツ健康科学部 | —           | 5           | 1           | —           |
| 大学院工学研究科  | —           | 1           | —           | —           |

※令和3(2021)年度は新型コロナウイルスの影響により中止

# 08 入学金・授業料・その他費用

## 08-1 入学金・授業料・その他費用

令和7年度入学生における学費・委託徴収金については、次のとおりです。

### 学部

#### 工学部・環境学部・経営情報学部

| 学 費           | 前期(入学手続時) | 後期       | 年額         |
|---------------|-----------|----------|------------|
|               |           |          |            |
| 授業料           | 485,000円  | 485,000円 | 970,000円   |
| 設備充実費         | 130,000円  | 130,000円 | 260,000円   |
| 実験実習費         | 50,000円   | 50,000円  | 100,000円   |
| 厚生衛生費(冷暖房費含む) | 15,000円   | 15,000円  | 30,000円    |
| 合計金額          | 680,000円  | 680,000円 | 1,360,000円 |

#### スポーツ健康科学部

| 学 費           | 前期(入学手続時) | 後期       | 年額         |
|---------------|-----------|----------|------------|
|               |           |          |            |
| 授業料           | 460,000円  | 460,000円 | 920,000円   |
| 設備充実費         | 140,000円  | 140,000円 | 280,000円   |
| 実験実習費         | 50,000円   | 50,000円  | 100,000円   |
| 厚生衛生費(冷暖房費含む) | 15,000円   | 15,000円  | 30,000円    |
| 合計金額          | 665,000円  | 665,000円 | 1,330,000円 |

※物価等の推移により、改定する場合があります。

#### 入学金(全学部共通)

250,000円

#### 委託徴収金(全学部共通)

|                      |     |         |
|----------------------|-----|---------|
| 学友会                  | 入会金 | 500円    |
|                      | 会 費 | 7,000円  |
| 後援会会費                |     | 7,500円  |
| 学生健康保険組合費(4ヶ年間分)     |     | 10,000円 |
| 学生教育研究災害傷害保険料(4ヶ年間分) |     | 3,300円  |
| 学研災付帯賠償責任保険料(4ヶ年間分)  |     | 1,360円  |
| 学生証カード代              |     | 6,000円  |
| バッチ代                 |     | 470円    |
| 合計金額                 |     | 36,130円 |

### 大学院

#### 大学院工学研究科

| 学 費           | 前期(入学手続時) | 後期       | 年額       |
|---------------|-----------|----------|----------|
|               |           |          |          |
| 授業料           | 320,000円  | 320,000円 | 640,000円 |
| 設備充実費         | 85,000円   | 85,000円  | 170,000円 |
| 実験実習費         | 20,000円   | 20,000円  | 40,000円  |
| 厚生衛生費(冷暖房費含む) | 7,500円    | 13,500円  | 21,000円  |
| 合計金額          | 432,500円  | 438,500円 | 871,000円 |

※物価等の推移により、改定する場合があります。  
※入学金は不要です。

#### 委託徴収金

|        |                      |         |
|--------|----------------------|---------|
| 博士前期課程 | 学生健康保険組合費(2ヶ年間分)     | 5,000円  |
|        | 学生教育研究災害傷害保険料(2ヶ年間分) | 1,750円  |
|        | 学研災付帯賠償責任保険料(2ヶ年間分)  | 680円    |
|        | 学生証カード代              | 6,000円  |
|        | 合計金額                 | 13,430円 |
| 博士後期課程 | 学生健康保険組合費(3ヶ年間分)     | 7,500円  |
|        | 学生教育研究災害傷害保険料(3ヶ年間分) | 2,600円  |
|        | 学研災付帯賠償責任保険料(3ヶ年間分)  | 1,020円  |
|        | 学生証カード代              | 6,000円  |
|        | 合計金額                 | 17,120円 |

## 08-2 主な奨学金制度

## 福井工業大学奨学金制度

|    | 奨学金区分              | 内 容                                                                                                                                                                                                                                              |
|----|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 特待生奨学金             | <b>学納金50%減免</b><br>対 象：学部2年次以上または大学院博士前期課程<br>条 件：前学期末までの成績GPA評価3.80以上<br>募集期間：前期・後期（年2回半期ごと）                                                                                                                                                    |
| 2  | 学習奨励金              | <b>5万円給付</b><br>対 象：学部2年次以上（博士前期課程及び博士後期課程は対象外）<br>条 件：前学期の成績GPA評価3.80以上かつ前学期の修得単位数15単位以上<br>募集期間：前期・後期（年2回半期ごと）                                                                                                                                 |
| 3  | 育英奨学金              | <b>学納金10～70万円減免</b><br>対 象：学部2年次以上、大学院全学年及び家計急変者<br>条 件：保護者年収が400万円以下かつ前学期末までの成績GPA評価2.70以上<br>または、家計急変事由が発生した場合<br>募集期間：前期・後期（年2回半期ごと）、家計急変者については随時                                                                                             |
| 4  | 選抜奨学金              | [第1種] <b>入学金および授業料<br/>全額免除</b><br>[第2種] <b>入学金全額および学<br/>納金半額減免</b><br>対 象：一般選抜Ⅰ期、大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期の志願者<br>採用人数：[第1種] 各入試区分につき上位3名 [第2種] 第1種採用者を除いた者<br>条 件：入学試験の合計点が一定の基準を満たしている者のうち、成績上位者<br>※最大4年間。毎年度末に継続審査有り                                 |
| 5  | 推薦選抜奨学金            | <b>授業料の半額減免</b><br>対 象：本学が指定する入試区分を受験した志願者（一部入試区分では希望者のみ）<br>条 件：基礎学力検査の合計点が100点満点中70点以上の得点者<br>※最大4年間。毎年度末に継続審査有り                                                                                                                               |
| 6  | 私費外国人留学生<br>奨学金    | <b>学納金50%減免</b><br>対 象：私費外国人留学生選抜による入学生または在留資格「留学」を有する<br>留学生で国費外国人留学生及び外国政府の派遣する留学生以外の者<br>条 件：本学の規程による<br>※最大4年間。毎年度末に継続審査有り                                                                                                                   |
| 7  | 私費外国人留学生<br>生活奨学金  | <b>毎月3万円を給付</b><br>対 象：在留資格「留学」を有する留学生（国費外国人留学生及び外国政府の<br>派遣する留学生以外）で、学部1年次後期以降、大学院全学年の者<br>条 件：前学期までの成績GPA評価3.50以上、他 本学の規程による<br>募集期間：前期・後期（年2回半期ごと）                                                                                            |
| 8  | スポーツ特待生奨学金         | <b>大会成績等により学納金<br/>または授業料減免</b><br>対 象：クラブ活動評価選抜による入学予定者または在学生<br>条 件：本学の規程による<br>※最大4年間。毎年度末に継続審査有り                                                                                                                                             |
| 9  | 災害特別奨学金            | <b>学納金等減免<br/>または災害援助金支給</b><br>対 象：入学予定者または学部・大学院全学年<br>条 件：被害状況による<br>募集期間：随時（ただし、被災日より1年以内）                                                                                                                                                   |
| 10 | 兄弟学費減免奨学金          | <b>学納金50%減免<br/>（委託徴収金及び修学支援金を<br/>除く）</b><br>対 象：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在学する学生生徒のうち1人<br>条 件：本学園が設置する各学校に兄弟姉妹で2人以上在学していること<br>募集期間：年1回（4月）                                                                                                             |
| 11 | 外国留学奨励奨学金          | <b>学納金の半額を上限に、<br/>渡航費、生活補助費または<br/>留学先学費の一部補助</b><br>対 象：学部2年次以上、大学院全学年<br>条 件：交換留学生として認められた者または認定留学生である者                                                                                                                                       |
| 12 | 大学院進学奨励奨学金         | [第1種] <b>学納金の半額減免</b><br>[第2種] <b>国立大学標準額と本学<br/>学納金との差額を減免</b><br>[博士後期課程入学者]<br><b>学納金全額免除</b><br>対 象：本学が指定する入試区分で受験した入学予定者<br>条 件：本学の規程による<br>※最大2年または3年間。毎年度末に継続審査有り<br>※ただし、本学学部卒業または本学大学院博士前期課程を修了していない者は、<br>入学初年度の授業料・実験実習費・厚生衛生費を全額免除する |
| 13 | 離島・沖縄県出身者<br>支援奨学金 | <b>学納金50%減免</b><br>対 象：当該地域からの入学予定者<br>条 件：保護者が当該地域に居住かつその地域において収入を得ていること<br>※最大4年間。毎年度末に継続審査有り                                                                                                                                                  |
| 14 | 特別奨励金              | <b>奨励金支給</b><br>対 象：学部・大学院全学年<br>条 件：取得した資格、修めた大会成績による<br>募集期間：随時                                                                                                                                                                                |
| 15 | 高大連携協定校<br>特別奨学金   | <b>入学金全額免除</b><br>対 象：高大連携協定校に在籍している生徒で、指定校推薦選抜の入試区分に<br>て出願する者<br>条 件：高大連携協定校特別奨学金採用基準を満たしている者                                                                                                                                                  |

### 08-3 学生保険

#### 学生健康保険組合

本学では、全学生が組合員となって健康の保持増進を図り、在学中に生じた疾病や不慮の負傷による経済的負担を軽減するための医療互助制度を設けています。医療機関にて保険診療に要した医療費総額を100分の30の6割(自己負担金の6割)の給付率で乗じた額を、学生健康保険組合から給付しています。

#### 学生教育研究災害傷害保険

この保険は、学生(被保険者)が日本国内または国外における教育研究活動中(対象範囲は下記参照)に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。

#### 学研災付帯賠償責任保険

日本国内外において学生(被保険者)が、保険の対象となる活動中およびその往復において、他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について、保険金が支払われます。

| 対象範囲                 | 内 容                                                                        |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 正課中                  | 講義、実験、実習、演習または実技などの授業中と指導教員の指示に基づき研究活動を行っている間の傷害事故                         |
| 学校行事中                | 入学式、オリエンテーション、卒業式など大学が主催する各種学校行事参加中の傷害事故                                   |
| 学校施設内にいる間            | 大学が教育研究活動のために管理している学校施設内にいる間の傷害事故                                          |
| 学校施設内外での課外活動(クラブ活動)中 | 大学が認めている課外活動団体の管理下で行っている活動中の傷害事故                                           |
| 通学中・学校施設相互間の移動中      | 大学の授業等、学校行事または課外活動(クラブ活動)への参加の目的をもって、合理的な経路および方法により、住居と学校施設等との間を往復する間の傷害事故 |

### 08-4 寮・下宿

県外及び県内遠方から通学する学生のために、大学より1 km以内の距離に男子学生向けの6つの指定寮と2つの指定下宿、女子学生専用の寮があります。食事は朝・夕2食付きです。

| 指定寮一覧 |      |
|-------|------|
| 西学園寮  | 五光寮  |
| 貴学寮   | 志学寮  |
| がくし寮  | むつみ寮 |

| 女子寮一覧              |
|--------------------|
| VARROD'Z SHIMAKAWA |

| 指定下宿一覧    |      |
|-----------|------|
| フレンドリーハウス | 平鍋下宿 |



VARROD'Z SHIMAKAWA

## 09 学生支援・施設紹介

### 09-1 図書館

図書館は、年間入館者数約9万人の利用があり座席数299席、面積1,857㎡の規模を有し、蔵書数約18万冊・定期刊行物約1,100タイトル・電子書籍約800冊と十分に学術情報資料を確保しています。また、他大学とのネットワークを形成したり、県内の公共図書館と相互協力協定を結び、学生だけでなく社会人や地域の方にも積極的に学習の機会を提供しています。

#### 蔵書数（視聴覚資料・電子書籍除く）（単位：冊）

|    | 和書      | 洋書     | 計       |
|----|---------|--------|---------|
| 図書 | 159,721 | 19,095 | 178,816 |

#### 所蔵雑誌数（単位：種） 視聴覚資料（単位：点）

|    | 計     |      | 計   |
|----|-------|------|-----|
| 雑誌 | 1,113 | 電子書籍 | 786 |

#### 【ラーニングコモンズ】

図書館内には、グループ学習、パソコンでの情報収集やレポート作成、プレゼンテーション機器を用いた発表練習など、幅広い学習に利用できるラーニングコモンズを設けています。

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 場 所  | 大学2号館3階・4階、<br>FUTタワー3階 ラーニングコモンズ |
| 開室時間 | 平日（月～金曜日）／8:30～22:00              |

#### 貸出冊数（雑誌含む）（単位：冊）

| 令和6<br>(2024)年度 | 令和5<br>(2023)年度 | 令和4<br>(2022)年度 | 令和3<br>(2021)年度 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 7,889           | 7,600           | 7,583           | 8,421           |

#### 入館者数（単位：人）

| 令和6<br>(2024)年度 | 令和5<br>(2023)年度 | 令和4<br>(2022)年度 | 令和3<br>(2021)年度 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 94,726          | 81,256          | 63,629          | 54,936          |

#### 学外利用者数（単位：人）

| 令和6<br>(2024)年度 | 令和5<br>(2023)年度 | 令和4<br>(2022)年度 | 令和3<br>(2021)年度 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 106             | 67              | 0               | 0               |

※令和3(2021)・令和4(2022)年度は新型コロナウイルスの影響により利用を制限



### 09-2 情報メディアセンター

情報メディアセンターは、学内コンピュータネットワークを含む情報システム、情報関連実習等の運用管理及び、情報システムを利用した教育、研究の支援を行う組織です。当センターでは、学生がより良い環境で学習できるよう、新たなシステム導入の検討や、ネットワーク整備、ノートパソコンに関する相談等を行っております。全館にWiFiが整備されており、また情報関連実習室は授業終了後に学生に開放していますので、様々なアプリケーションを利用してレポートの作成等を行うことができます。

#### 【CAD実習室(6-304/305)】

コンピュータを用いて、機械、電気や建築、土木分野の図面を制作する授業に利用されます。AutoCAD、AutoDesk InventorといったCADソフトウェアを導入した高性能なパソコンの他、レーザープリンターや視聴覚機器等が整備されています。

#### 【携帯端末実習室(6-201、207、405)、スタジオ(6-206)】

学生所有のノートパソコンをネットワークに接続し、コンピュータリテラシ、プログラミング等の授業に利用されます。パソコンの操作法、課題等は、実習室前面のスクリーンと卓上の液晶ディスプレイに表示されますので、学生は自身のノートパソコンの画面と見比べながら授業を受ける事ができます。また、3つの実習室を結ぶスタジオが設けられており、複数実習室同時に授業を行う事が可能です。

#### 【MM実習室(6-307)、スタジオ(6-306)】

この教室は3DCG、Web、グラフィックアニメーション、映像編集などのメディアデザイン教育に使用されます。Adobe Creative CloudやVector Worksなど、様々なメディアデザイン教育に対応するソフトウェアが準備されたiMacが設置されています。

|      |                      |
|------|----------------------|
| 場 所  | 大学2号館3階              |
| 開室時間 | 平日（月～金曜日）／8:30～17:30 |



MM 実習室

## 09-3 クラブ活動支援センター

クラブ活動支援センターは、学生が結成するクラブについて、活動と修学を両立できる環境づくりと活動支援を行っています。

### 1. クラブ学生の活動支援

クラブ学生が、日々のトレーニングや練習、また公式大会に集中できるような就学支援や、学生生活に関する支援に取り組んでいます。特に、公式戦等で授業に参加できない場合の教育的配慮を行う支援を学務課と協働で実施しています。

### 2. 情報の公開

クラブの大会予定や成績を、教職員・学生、また同窓会や後援会の皆様に対して、公式ホームページやSNS等により、積極的な情報配信を行います。

### 3. 令和6(2024)年度の主な成績(全国大会の上位入賞及び記録)

| クラブ名    | 大会名                                  | 種目                | 結果             |
|---------|--------------------------------------|-------------------|----------------|
| 硬式野球部   | 第73回全日本大学野球選手権大会                     |                   | 出場             |
| 女子硬式野球部 | 第14回全日本大学女子硬式野球選手権大会                 |                   | 準優勝            |
|         | 第20回記念伊予銀行杯全日本女子硬式野球選手権大会            |                   | 出場             |
| カヌー部    | 第60回全日本学生カヌースプリント選手権大会               | 男子カヤックリレー 500m×4  | 4 位            |
|         |                                      | 男子カナディアンフォア 1000m | 4 位            |
| 馬術部     | 全日本学生馬術大会2024                        |                   | 出場             |
|         | 第60回全日本学生馬術女子選手権大会                   |                   | 10位            |
| ゴルフ部    | 世界大学ゴルフ選手権2024                       | 女子個人              | 5 位            |
|         | 第47回全国女子大学ゴルフ対抗戦                     |                   | 3 位            |
| 陸上競技部   | 第108回日本陸上競技選手権大会                     | 20km競歩            | 出場             |
|         | 天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会              | 10000m競歩          | 出場             |
| 柔道部     | 全日本学生柔道体重別選手権大会                      | 個人戦               | 出場             |
|         | 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会                    | 個人戦               | 出場             |
| バレーボール部 | 第77回秩父宮杯全日本バレーボール大学男子選手権大会           |                   | 出場             |
| 剣道部     | 第72回全日本学生剣道優勝大会<br>第43回全日本女子学生剣道優勝大会 | 男女団体              | 出場             |
|         | 第18回全日本学生剣道オープン大会                    | 男子個人の部            | 優勝、準優勝         |
| 男子ホッケー部 | 第43回全日本大学ホッケー王座決定戦                   |                   | ベスト8           |
|         | 高円宮杯ホッケー日本リーグ 1 部                    |                   | 7 位(ベストイレブン受賞) |
| 女子ホッケー部 | 第43回全日本大学ホッケー王座決定戦                   |                   | ベスト8           |
|         | 第46回女子全日本学生ホッケー選手権大会                 |                   | ベスト8           |
| 空手道部    | 第68回全日本大学空手道選手権大会                    | 男子団体組手            | 出場             |
| 応援団吹奏楽部 | 第48回全日本アンサンブルコンテスト                   | クラリネット四重奏         | 金賞             |

## 09-4 キャリアセンター

キャリアセンター所属の専任スタッフを学科ごとに配置し、専用ブースを設けて随時、個別相談を実施。就職支援スケジュールによるきめ細かな指導により、本人の志向や能力に合った企業を親身になって紹介します。

|      |                      |
|------|----------------------|
| 場 所  | 大学1号館3階              |
| 開室時間 | 平日(月～金曜日)／8:30～17:30 |

## 1. 個別指導

就職担当教員・キャリアコンサルタントが学生一人ひとりの適性を見極めながら、マンツーマンで指導を行っています。就職活動の方法、企業情報の入手方法、履歴書・エントリーシートの書き方、面接対策、マナーなど、進路相談や就職活動を全面的に支援しています。

## 2. 就職支援スケジュール

|    |                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>GPSアカデミック(自己分析Webテスト)</li> <li>特別講座開講説明会(全学年対象)</li> </ul>                                                                                                                                                        |
| 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>業界研究セミナー(県内企業見学バスツアー)</li> <li>就職ガイダンス</li> </ul>                                                                                                                                                                 |
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップガイダンス</li> <li>就職ガイダンス</li> <li>GPSアカデミック<br/>(自己分析Webテストフォローアップガイダンス)</li> <li>海外インターンシップ</li> <li>留学生ガイダンス</li> <li>業界・企業研究会</li> <li>就職試験対策講座</li> <li>学内合同企業研究会</li> <li>学内個別企業研究会(仕事セミナー)</li> </ul> |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導</li> <li>学内個別企業説明会</li> </ul>                                                                                                                                                                                |

## 3. 資格取得支援

各学科で取得できる資格や、内容、試験日程等を詳しく紹介。学内外の講師による資格取得のための特別講座を開講しています。資格・試験の難易度に応じ福井工業大学特別奨励金が支給されます。

## 大学教授陣による資格取得支援

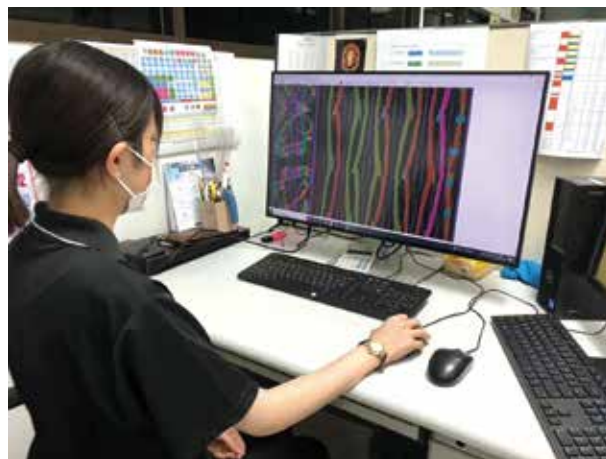
- ◎基本情報技術者試験
- ◎CGエンジニア検定(エキスパート・ベーシック)
- ◎公害防止管理者(水質)
- ◎放射線取扱主任者(第1種・第2種)  
(エックス線作業主任者への講座を含む)
- ◎非破壊試験技術者(超音波探傷レベル1)
- ◎環境測定分析士(3級)

## 学外講師による特別講座

- ◎2級建築士取得支援講座
- ◎宅地建物取引士受験講座
- ◎2級建築施工管理技士学科試験対策講座
- ◎2級土木施工管理技士学科試験対策講座
- ◎基本情報技術者試験対策講座
- ◎公務員試験対策講座

## 4. 海外インターンシップ

本学では、平成28(2016)年度よりキャリア教育の一環として、タイ、ベトナムにて海外インターンシップを実施しています。海外での就業体験や生活を通して、国際感覚や海外赴任にも対応できる適応力の養成を目的としています。



企業での就業体験

## 09-5 インターナショナルセンター

### 1. 国際交流の推進

海外協定校との教員・学生及び研究面での交流促進、新たな協定の締結等、本学の国際交流の活性化を目指しています。

### 2. 在学生の留学支援

海外語学研修、海外留学支援プログラム「Seize the day」、海外インターンシップ等、海外留学に関する支援を行います。

### 3. 留学生の支援

海外からの留学生の受入れ手続きの支援、本学に入学後の留学生の生活支援や個別カウンセリングを行っています。本学には、現在、12カ国から124名の留学生が在籍しています。留学生が本学で充実した学生生活を送れる環境づくりを目指しています。

#### インターナショナルセンター 学務課

|      |                      |
|------|----------------------|
| 場 所  | FUTタワー4階             |
| 開室時間 | 平日(月～金曜日)／8:30～17:30 |



陶芸体験

## 09-6 テクニカルサポートセンター

テクニカルサポートセンターでは、工業系大学として必要な実験・実習・ものづくりのサポートを実践的に授業の中に取り入れ、常に学生の創作意欲を高める取り組みを行っています。ここでは、学生の金属加工実習で学ぶマシニングセンタやNC付フライス盤などの機器が備わっており、教材にハイブリッド車を用いるなど基礎から実際に役立つ技術までの工程を学ぶことができます。特に、産業界で使用されている機器を用いた少人数制で行われる実習で知識と技術を徹底的に身につけ、製造技術や制御技術を習得することができます。

### ◎SSL (Student Space Laboratory)

SSLは授業でも部活動でもない学生たちの「やってみたい」という創作活動に対し、大学の有するものづくりにかかる施設を開放。工作機械やパソコンなどを自由に利用し学生たちの思い描く創造に取り組んでもらうシステムです。学生たちはテーマ別に「プロジェクト」を組み創作活動を行います。機械工作、模型製作、自作自動車での大会挑戦など、それぞれの目標のため設計から製作までのものづくりのプロセスを学生たちが中心となって進めていきます。プロジェクトによっては助成金の補助があります。

### 【SSLプロジェクト】

SSLプロジェクトでは、機械工作、模型製作、自作自動車で大会に挑戦するために、様々な創作活動が行われており、設計から制作までのものづくりのプロセスを学生が一体となって、運営するもので「FUT学生フォーミュラ」や「Ene-1GP電気自動車」などのプロジェクト活動を行っています。

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 場 所  | SSL1号館(デザイン工房)・<br>SSL2号館・SSL3号館 |
| 開室時間 | 平日(月～金曜日)／9:00～19:00             |



FUT学生フォーミュラプロジェクト

| SSL公認プロジェクト |                      |
|-------------|----------------------|
| 1           | Ene-1 GP 電気自動車プロジェクト |
| 2           | FUT学生フォーミュラプロジェクト    |
| 3           | 模型ファクトリープロジェクト       |
| 4           | FUTロボットファクトリープロジェクト  |

### 09-7 学習支援室

学習支援室は、学びのコーチ役として学生の学力向上をお手伝いし、相談内容に応じた指導を行います。何よりも自分から進んで問題に取り組み、解決し、楽しく学ぶための動機付けになればと考えています。



|      |                      |
|------|----------------------|
| 場 所  | FUTタワー 5階            |
| 開室時間 | 平日(月～金曜日)／9:00～17:30 |
| 科 目  | 数学、物理、化学、専門科目        |



### 09-8 教職支援室

教職支援室は、将来教員を目指す学生のアドバイザーとして、教員免許状取得に向けた履修のあり方、教育実習・介護等体験の計画・相談、教員採用試験対策など、合格に向けた相談に応じています。

|      |                      |
|------|----------------------|
| 場 所  | FUTタワー 5階            |
| 開室時間 | 平日(月～金曜日)／9:00～17:30 |

### 09-9 SPEC

本学では、コミュニケーション力の育成を重視した英語教育プログラム SPEC (Special Program for English Communication) を展開しています。このプログラムの目的は、海外への出張から商談・取引、プレゼンテーションまで、世界の現場でコミュニケーションがとれるエンジニア・ビジネスパーソンを育成することにあります。FUTタワー 4階に常勤外国人教員室があり、本プログラムに関わる事業全般を企画・実施するための拠点としての機能を担っています。SPECでは正規の授業以外に次のような教育支援を行っています。

#### 1. 英会話カフェ

平日5限目に、学生の英会話力向上を支援することを目的に、シナジー館4階の Study Lounge I で「英会話カフェ」を開催しています。学生は外国人教員との英会話を気軽に無料で楽しむことができます。

#### 2. 多文化体験イベントの企画・実施

多文化、特に英語圏の文化を体験することを目的に、ハロウィンパーティーなど様々なイベントを年に数回行っています。外国人教員から文化や慣習についての解説を聞いたり、本学に在籍している留学生と交流したりしています。

#### 3. 海外語学研修の企画・実施

夏季と春季の長期休暇中に英語圏で2～4週間の語学研修を実施しています。参加者は、現地でホームステイをしながら研修先の大学等で英語を学びます。研修を修了すると、「海外語学研修(4単位)」が英語選択科目の単位として認定されます。

### 【Study Lounge I】

学生のための国際交流フリースペースです。5限目の時間には、学生がネイティブスピーカーの教員と気軽に話しができる英会話カフェを実施しています。また、季節ごとに国際色豊かなイベントを開催しています。



Study Lounge I

### 【Study Lounge II】

10人程度収容の多目的施設です。色彩豊かな椅子とテーブルがあり、学生同士のミーティングなどに幅広く活用しています。



Study Lounge II

## 09-10 学生生活支援室

学生生活支援室では、学生相談を担当しています。学生が有意義な大学生活を送れるように、入学前から卒業までの間、カウンセリングを中心に学生支援を行っています。専門のカウンセラー（臨床心理士、社会福祉士、保健師、公認心理師、特別支援教育士 等）5名、教員カウンセラー10名（内1名は臨床心理士）で対応しています。また、障害学生支援（修学支援）の窓口も担っています。

|      |                      |
|------|----------------------|
| 場 所  | シナジー館3階              |
| 開室時間 | 平日（月～金曜日）／9:00～17:00 |



学生生活支援室フリースペース



学生生活支援室パンフレット

# 10 決算の概要

## 資金収支計算書

令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで (単位:円)

| 収入の部        |                |
|-------------|----------------|
| 科 目         | 金 額            |
| 学生生徒等納付金収入  | 3,513,592,526  |
| 手数料収入       | 31,086,424     |
| 寄付金収入       | 93,919,967     |
| 補助金収入       | 1,209,732,630  |
| 資産売却収入      | 411,142        |
| 付随事業・収益事業収入 | 178,038,206    |
| 受取利息・配当金収入  | 214,628,063    |
| 雑収入         | 119,228,259    |
| 借入金等収入      | 0              |
| 前受金収入       | 464,151,830    |
| その他の収入      | 5,960,343,617  |
| 資金収入調整勘定    | △ 778,119,206  |
| 前年度繰越支払資金   | 1,637,251,169  |
| 収入の部合計      | 12,644,264,627 |
| 支出の部        |                |
| 科 目         | 金 額            |
| 人件費支出       | 2,815,130,658  |
| 教育研究経費支出    | 1,967,820,531  |
| 管理経費支出      | 816,145,678    |
| 借入金等利息支出    | 3,772,370      |
| 借入金等返済支出    | 285,600,000    |
| 施設関係支出      | 993,234,347    |
| 設備関係支出      | 245,616,999    |
| 資産運用支出      | 2,578,864,842  |
| その他の支出      | 2,367,198,592  |
| 資金支出調整勘定    | △ 415,311,960  |
| 翌年度繰越支払資金   | 986,192,570    |
| 支出の部合計      | 12,644,264,627 |

## 貸借対照表

令和7(2025)年3月31日 (単位:円)

| 資産の部        |                  |
|-------------|------------------|
| 科 目         | 金 額              |
| 固定資産        | 28,882,857,409   |
| 有形固定資産      | 20,793,245,287   |
| 特定資産        | 6,907,438,905    |
| その他の固定資産    | 1,182,173,217    |
| 流動資産        | 1,393,227,462    |
| 資産の部合計      | 30,276,084,871   |
| 負債・純資産の部    |                  |
| 科 目         | 金 額              |
| 固定負債        | 2,111,119,147    |
| 流動負債        | 1,248,291,955    |
| 負債の部合計      | 3,359,411,102    |
| 基本金         | 47,360,963,403   |
| 繰越収支差額      | △ 20,444,289,634 |
| 純資産の部合計     | 26,916,673,769   |
| 負債及び純資産の部合計 | 30,276,084,871   |

## 事業活動収支計算書

令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで (単位:円)

| 教育活動収支    | 事業活動収入の部 | 科 目              | 金 額             |                 |
|-----------|----------|------------------|-----------------|-----------------|
|           |          | 学生生徒等納付金         | 3,513,592,526   |                 |
|           |          | 手数料              | 31,086,424      |                 |
|           |          | 寄付金              | 96,501,171      |                 |
|           |          | 経常費等補助金          | 1,145,062,630   |                 |
|           |          | 付随事業収入           | 177,642,791     |                 |
|           |          | 雑収入              | 119,228,259     |                 |
|           |          | 教育活動収入計          | 5,083,113,801   |                 |
|           | 事業活動支出の部 | 科 目              | 金 額             |                 |
|           |          | 人件費              | 2,865,491,348   |                 |
| 教育研究経費    |          | 2,762,691,813    |                 |                 |
| 管理経費      |          | 1,285,622,908    |                 |                 |
| 徴収不能額等    |          | 13,494,408       |                 |                 |
| 教育活動支出計   |          | 6,927,300,477    |                 |                 |
| 教育活動収支差額  |          | △ 1,844,186,676  |                 |                 |
| 教育活動外収支   | 事業活動収入の部 | 科 目              | 金 額             |                 |
|           |          | 受取利息・配当金         | 214,628,063     |                 |
|           |          | その他の教育活動外収入      | 0               |                 |
|           |          | 教育活動外収入計         | 214,628,063     |                 |
|           | 事業活動支出の部 | 科 目              | 金 額             |                 |
|           |          | 借入金等利息           | 3,772,370       |                 |
|           |          | その他の教育活動外支出      | 780,818         |                 |
|           |          | 教育活動外支出計         | 4,553,188       |                 |
| 教育活動外収支差額 |          | 210,074,875      |                 |                 |
| 収支経常      | 経常収支差額   |                  | △ 1,634,111,801 |                 |
| 特別収支      | 事業活動収入の部 | 科 目              | 金 額             |                 |
|           |          | 資産売却差額           | 188,912,550     |                 |
|           |          | その他の特別収入         | 70,529,362      |                 |
|           |          | 特別収入計            | 259,441,912     |                 |
|           | 事業活動支出の部 | 科 目              | 金 額             |                 |
|           |          | 資産処分差額           | 74,398,175      |                 |
|           |          | その他の特別支出         | 0               |                 |
|           |          | 特別支出計            | 74,398,175      |                 |
|           |          | 特別収支差額           |                 | 185,043,737     |
|           |          | 基本金組入前当年度収支差額    |                 | △ 1,449,068,064 |
| 基本金組入額合計  |          | △ 1,179,809,194  |                 |                 |
| 当年度収支差額   |          | △ 2,628,877,258  |                 |                 |
| 前年度繰越収支差額 |          | △ 18,065,412,376 |                 |                 |
| 基本金取崩額    |          | 250,000,000      |                 |                 |
| 翌年度繰越収支差額 |          | △ 20,444,289,634 |                 |                 |
| (参考)      |          |                  |                 |                 |
| 事業活動収入計   |          | 5,557,183,776    |                 |                 |
| 事業活動支出計   |          | 7,006,251,840    |                 |                 |

# 11 教育研究環境

## 11-1 キャンパス・学内施設

### 福井キャンパス

最先端の工学研究に取り組める時代に即した研究機器や実験施設が充実。



〒910-8505

福井県福井市学園3丁目6番1号

- 北陸新幹線福井駅下車
- 福井駅西口バスターミナル3番のりば  
学園線乗車、福井工業大学前下車または  
福井高校前下車(所要時間約10分)

### あわらキャンパス

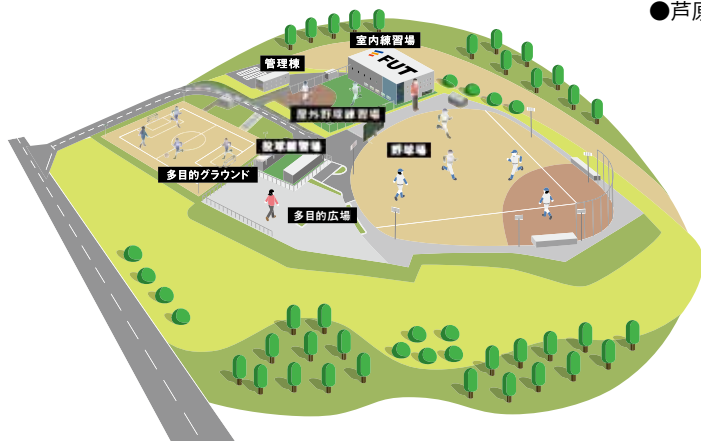
人工衛星運用が可能な口径13.5mのパラボラアンテナを中心とした地上基地局、スポーツ健康科学部の実習施設がある。



〒910-4272

福井県あわら市北潟213字21番地

- 北陸新幹線芦原温泉駅下車
- 芦原温泉駅より車で約15分



### カール・マイヤーグラウンド

東京ドームの約2.5倍の敷地にさまざまなスポーツ設備を完備。

〒910-1124

福井県吉田郡永平寺町松岡上吉野72字平野山1番1

- 北陸新幹線福井駅下車
- 福井駅より車で約20分

## 11-2 所在地及び土地・建物面積

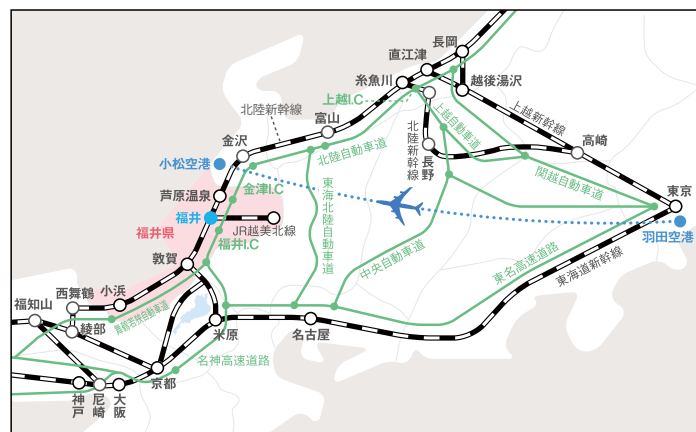
令和7(2025)年5月1日現在

| 校 地                  | 所 在 地                    | 土 地 面 積                | 建 物 面 積               |
|----------------------|--------------------------|------------------------|-----------------------|
| 福井校地 福井キャンパス         | 福井県福井市学園3丁目6番1号          | 37,346 m <sup>2</sup>  | 49,883 m <sup>2</sup> |
| 芦原校地 あわらキャンパス        | 福井県あわら市北潟213字21番地        | 159,386 m <sup>2</sup> | 10,511 m <sup>2</sup> |
| 福井東部校地 カール・マイヤーグラウンド | 福井県吉田郡永平寺町松岡上吉野72字平野山1番1 | 121,085 m <sup>2</sup> | 3,786 m <sup>2</sup>  |
| 全 体                  |                          | 317,818 m <sup>2</sup> | 64,180 m <sup>2</sup> |

## 11-3 耐震化率

令和7年5月1日の耐震化率は100%

## アクセスマップ



### JR福井駅までの所要時間

|        |       |            |
|--------|-------|------------|
| ●東京から  | 約3時間  | 北陸新幹線利用    |
| ●名古屋から | 約2時間  | 北陸新幹線・特急利用 |
| ●京都から  | 約1時間半 | 北陸新幹線・特急利用 |
| ●大阪から  | 約2時間  | 北陸新幹線・特急利用 |
| ●金沢から  | 約30分  | 北陸新幹線利用    |
| ●富山から  | 約1時間  | 北陸新幹線利用    |
| ●長野から  | 約2時間  | 北陸新幹線利用    |

「知」をつなぐ。  
「未来」を創る。



**福井工業大学**  
Fukui University of Technology

〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号  
TEL.0776-29-2620(大学代表) FAX.0776-29-7891  
E-mail syomu-u@fukui-ut.ac.jp

